

令和6年3月 加茂市長定例記者会見
令和6年3月6日(水) 10:00~

1. 第58回雪椿まつり・・・・・・・・・・・・・・・・・・商工観光課
・4月6日から5月5日までの期間に開催
・「灯し山」「ゆきつばき来福茶席」「春山ハイキング」
・「ゆきつばきマルシェ」「カモレンジャーショー」など
2. 加茂市立小中学校適正化方針案意見募集・・・・・・・・・・庶務課
・3月1日から5月10日まで意見募集
・市内7か所で説明会を開催
3. 地域包括支援センターの増設・・・・・・・・・・長寿あんしん課
・二つ目のセンターを株式会社あさひ commons に委託
4. アルビレックス新潟「加茂市デー」と加茂市民対象観戦招待・スポーツ振興課
・3月30日午後2時キックオフ 柏レイソル戦
・加茂市特産品の販売や雪椿まつり PR など
5. 「図書館きつず DAY」の開催・・・・・・・・・・社会教育課
・3月16日午前9時から午後6時まで
・読み聞かせや子ども映画上映など、声を出しても大丈夫な日
6. 加茂文化会館3月以降の催し案内・・・・・・・・・・社会教育課
・3月20日午前9時~午後4時「Cul Kamo アート&マルシェ」
・3月24日午後2時開演「早春に響く心揺さぶる室内楽」
・6月9日午後4時開演「八神純子 Live キミの街へ」
7. 開校150年展示「加茂西小学校と地域文化」及び特別歴史講演会「日本近代史の中の地震と新潟県の人々」・・・・・・・・・・社会教育課
・開校150年展示 3月19日~5月12日(民俗資料館)
・中村元先生特別歴史講演会 3月30日午前10時(加茂文化会館)
8. 令和6年度 事業者向け支援制度説明会・・・・・・・・・・商工観光課
・3月22日午後2時から 加茂市産業センター2階会議室
・市内に事業所等を有する事業者を対象
・各種助成制度や相談窓口、支援体制などの紹介
9. 「世界自閉症啓発デー」ブルーライトアップ
及び「発達障がい啓発週間」アート展・・・・・・・・・・健康福祉課
・ライトアップは4月2日午後5時30分から午後9時30分まで加茂駅前
・アート展は3月29日から4月15日まで市役所1階ホール

1. 第 58 回雪椿まつりについて

今年は 4 月 6 日から 5 月 5 日までの期間で開催されます。

青海神社と加茂山公園池の端のライトアップを行う「灯し山」や、茶道未経験者でも気軽に参加できる「ゆきつばき来福茶席」、新緑の加茂山をガイド付きで散策する「春山ハイキング」、手作り小物の販売やワークショップ、キッチンカーが出店する「ゆきつばきマルシェ」、子どもたちに大人気のカモレンジャーショーやトレジャーハンティングなど、盛りだくさんの内容で開催されます。

4 月 6 日午後 6 時から加茂山公園池の端で行われる灯し山の点灯式には、友好都市大島町の方々をお迎えし、柔らかな光の中で民踊やよさこいを披露していただきます。雨天の場合は踊りの披露は中止となります。

次に、事前申込や予約が必要なイベントをお知らせします。

4 月 7 日に青海神社で開催される「ゆきつばき来福茶席」は、神社の特別拝観とお抹茶を楽しむことが出来るイベントです。全部で 6 席行い、時間は、第 1 席は午前 9 時 30 分から、第 2 席は午前 10 時 20 分から、第 3 席は午前 11 時 10 分から、第 4 席は午後 12 時 30 分から、第 5 席は午後 1 時 20 分から、第 6 席は午後 2 時 10 分からとなります。拝観料込みの茶席券は 1 席 1,000 円で、市内の有本治平呉服店で販売しています。3 月 27 日までは、日本料理きふね、商工観光課窓口でも販売します。

同じく 4 月 7 日の午後 2 時から、清雲亭山重「山の蔵」で「加茂寄席×雪椿まつり」が開催されます。これは 2022 年から行われている加茂寄席という音楽イベントと雪椿まつりのコラボレーション企画です。チケットは事前予約 3,000 円、当日 3,500 円で、いずれも当日会場で現金での支払いとなります。ご予約は、雪椿まつり特設サイト内の予約フォーム、または商工観光課までご連絡ください。

次に、4 月 14 日に開催される「春山ハイキング」についてです。

新緑の加茂山ハイキングコースと商店街を歩いた後、清雲亭山重「山の蔵」で

加茂市の里山環境に関する動画を見ながらのティータイム、最後に加茂川を泳ぐ鯉のぼりを堪能する、加茂市の魅力が満載のガイド付きハイキングイベントです。受付は午前8時30分から、青海神社入口の赤い鳥居付近で行い、午前9時から正午頃までのイベントとなります。参加費は1,500円で当日現金での支払いですが、保険加入手続きのため事前申込が必要です。お申し込みは、雪椿まつり特設サイト内の申込フォーム、または商工観光課までご連絡ください。

このほかにもイベントが盛りだくさんですので、詳細は雪椿まつり特設サイトをご確認ください。

2. 加茂市立小中学校適正化方針案意見募集について

少子化に伴う児童生徒数の減少及び校舎等の老朽化などが問題視されていることから、「加茂市立小中学校適正化方針」案を作成しました。

同方針案に対する皆様のご意見をお聞かせください。意見の受付期間は令和6年3月1日から令和6年5月10日までです。方針案は、市ホームページで閲覧できるほか、市役所1階市民ロビー、図書館、公民館、市内各コミュニティセンターで入手できます。回答方法はインターネット、各施設の回収箱に意見提出用紙を投函する、意見提出用紙を教育委員会庶務課への郵送・持参となります。

提出された意見への個別の回答、電話による意見の受付はできませんのでご了承ください。提出された意見の概要と教育委員会の考え方を後日公表します。

また、作成した方針案についての説明会を市内7か所で開催します。3月17日午後2時から加茂文化会館小ホールで、3月19日午後7時から須田コミュニティセンターで、3月22日午後7時から中央コミュニティセンターで、3月24日午前10時から七谷コミュニティセンターで、同じく3月24日午後2時から下条コミュニティセンターで、4月17日午後7時から加茂小学校で、4月19日午後7時か

ら公民館西分館で、それぞれ開催します。

参加申込みは必要ありませんが、手話通訳・要約筆記が必要な方は事前に教育委員会庶務課までお申し出ください。ご興味のある方、ご都合のつく方はご参加ください。

3. 地域包括支援センターの増設について

加茂市では、保健・医療・福祉の連携の拠点として高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケアシステムの構築に向けた基盤整備を進めるため、令和6年4月1日から二つ目の地域包括支援センターを増設します。

増設する地域包括支援センターは、民間事業所の創意工夫を活かし、包括的支援事業の効率的な運営を図るため、三条市の株式会社あさひ commons に委託します。名称は、「加茂市地域包括支援センターあさひ」で、所在地は中央コミュニティセンターの2階となります。担当圏域は、若宮中学校区、七谷中学校区、番田、幸町、石川、23区、24区、25区、これらの六つの区を除く加茂中学校区です。そのほかの地域の方の担当圏域は、今までどおり長寿あんしん課の地域包括支援センターとなります。なお、地域包括支援センターには、担当圏域を設けておりますが、ご相談は、担当地域のセンターに限らず、どちらの窓口でもお受けいたしますので、最寄りのセンターや行きやすいセンターをご利用ください。

今後は、更なる機能の充実を図り、地域包括支援センターを中心に、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供し、フレイル対策から看取りまで切れ目のないサポートを行っていきます。

4. アルビレックス新潟ホームゲーム加茂市デー及び加茂市民対象観戦招待につ

いて

アルビレックス新潟とホームタウンである県内30市町村は、連携した取組として、ホームゲームに合わせてデンカビッグスワンで市町村のPRを行う「市町村デー」を実施しています。

今シーズンの「加茂市デー」は3月30日です。対象となるホームゲームは同日午後2時キックオフの柏レイソル戦です。当日は、加茂市ブースでのマカロニチップスやクラフトコーラ、コーヒーケーキなどの特産品の販売、また雪椿まつりや加茂七谷温泉美人の湯のPR、ハーフタイムでの場内一周イベント等への参加を予定しています。

ぜひ、一緒にスタジアムで、アルビレックス新潟を応援しましょう。

また、アルビレックス新潟では加茂市民を対象に3月から4月に開催するホームゲームのうち1試合の観戦招待キャンペーンを行っています。対象の試合は、3月30日の柏レイソル戦、4月7日のセレッソ大阪戦、4月13日の北海道コンサドーレ札幌戦です。広報かもお知らせ版3月1日号に掲載の二次元コードから申し込みが可能です。

5. 「図書館きっずDAY」の開催について

加茂市立図書館では、3月16日の午前9時から午後6時まで、親子で一緒に楽しめる「図書館きっずDAY」を開催します。

「図書館では静かにしないといけないから」とお子さんを連れて来るのを遠慮しているお父さんやお母さんたちに、気兼ねなくおしゃべりしながら本を選んだり、読み聞かせをしたり、子ども映画を見て笑ったりしていただきたいと思います。もちろん赤ちゃんが声を出して笑っても泣いても大丈夫です。図書館に来たことのある人もない人も、ぜひこの機会に図書館に来て楽しんでください。

このほかにも、毎月子ども向けのイベントを開催しています。ホームページ等でご案内していますので、お気軽にご参加ください。

6. 加茂文化会館の催し案内について

加茂文化会館から今後開催される事業を三つご案内します。

一つ目は3月20日に開催される「Cul Kamo アート&マルシェ」です。開催時間は午前9時から午後4時までです。

ハンドメイドの作品販売や体験ワークショップ、地元野菜の販売などのマルシェ出店、小ホールでは絵本の読み聞かせ、大ホールではバックヤードツアーで普段入ることのできない場所で音響照明についての体験のほか、キッチンカーがやってきたりと盛りだくさんの入場無料イベントです。ぜひ、お越しください。

二つ目は3月24日に開催される「早春に響く心揺さぶる室内楽」です。こちらは2月の記者会見でも告知しましたが、詳細が決まりましたので改めてお知らせします。

新潟にゆかりがある国内外で活躍する仲間編成されたプロ弦楽アンサンブル「新潟シンフォニエッタ TOKI」のメンバーとその仲間たちによる演奏で、加茂文化会館の音響のすばらしさを体験してください。午後2時開演で、料金は一般2,500円、中学生以上1,500円、10名以上のグループは一人につき2,000円、小学生は無料ですがチケットは必要です。未就学児は入場不可となりますのでご了承ください。チケットは現在発売中です。

三つめは6月9日に開催される「八神純子 Live キミの街へ」です。ギターとピアノだけのシンプルなステージで、圧倒的な声量で歌い上げます。開演は午後4時で現在チケットの一般販売を行っています。料金は全席指定6,500円です。ぜひこの機会にお越しください。

各チケットは、加茂文化会館、コイケメガネ、他プレイガイドでお求めください。また、車いす席は加茂文化会館で直接お求めください。

多くの方のご来場をお待ちしております。

7. 開校 150 年展示「加茂西小学校と地域文化」及び特別歴史講演会「日本近代史の中の地震と新潟県の人々」の開催について

令和 5 年度は、明治 6 年（1873）に加茂西小学校が開校して 150 周年にあたります。また、令和 6 年度は、昭和 49 年（1974）に民俗資料館が開館して 50 周年にあたります。この 2 つを記念し、民俗資料館では 3 月 19 日から 5 月 12 日まで「加茂西小学校と地域文化」と題する小展示を開催します。石川小学校や公民館西分館、個人の所蔵品を約 20 点展示し、学校と地域にまつわる知られざる逸話等を紹介します。ぜひご来館ください。

さらに、3 月 30 日の午前 10 時から加茂文化会館小ホールにおいて、特別歴史講演会「日本近代史の中の地震と新潟県の人々」を開催します。講師は、新潟大学人文学部准教授で加茂市史編集委員の中村元先生です。

昨年、発生から 100 年を迎えた関東大震災が、加茂町を含む新潟県へ与えた影響などをご講演いただきます。定員は 100 名で、入場は無料ですが、聴講を希望される場合はあらかじめ民俗資料館へのお申し込みをお願いします。多くの方のご来場をお待ちしております。

8. 令和 6 年度 事業者向け支援制度説明会について

3 月 22 日午後 2 時から加茂市産業センター 2 階会議室で、加茂市主催、公益財

団法人にいがた産業創造機構、加茂商工会議所協力のもと「令和6年度 事業者向け支援制度説明会」を開催します。

この説明会は、市内に事業所等を有する事業者を対象として、にいがた産業創造機構、加茂商工会議所、加茂市における各種助成制度や相談窓口、支援体制を紹介します。

今年度初開催となる説明会ですが、多くの事業者の方々からご参加いただき、事業の参考にさせていただければ幸いです。参加費は無料、定員50名で、事前申し込みが必要となります。申込期限は3月19日で、お手元の参加申込書により商工観光課までFAXまたはメールでお申し込みいただくか、申込書の二次元コードからお申し込みください。詳細は商工観光課にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

9. 「世界自閉症啓発デー」ブルーライトアップ 及び 「発達障がい啓発週間」アート展について

4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。

また、4月2日から4月8日は厚生労働省が定めた「発達障がい啓発週間」として、自閉症などの発達障がいについて理解を深めるための取組が各地で行われています。

加茂市では「希望」を意味する、自閉症・発達障がい啓発のシンボルカラーであるブルーのライトアップを実施します。

あわせて、加茂市自立支援協議会の啓発プロジェクトとして、自閉症の人たちのアート作品などを紹介するアート展を開催します。

ライトアップは、4月2日午後5時30分から午後9時30分まで、加茂駅前の噴水モニュメントで実施します。

アート展は、3月29日から4月15日まで、市役所1階ロビーで開催します。

加茂市は、障がいのある人もない人も共に生きる地域の実現を目指しまちづくりを進めています。そのためには、障がいのある人や、障がいについて理解を深めることが大切です。自閉症を含む様々な症状があるとされる発達障がいは、外見ではわかりにくい障がいの一つです。そのため、周囲から理解されず、生きづらさを抱える人も多くいらっしゃいます。

この機会に、発達障がいや自閉症について光をあて、市民の皆さまに理解を深めていただけましたら幸いです。



水色の地に雪椿のトレードマークでお馴染みの法被は、日本画家・香嶋春雄氏によるデザイン。代々大切に受け継がれています。

昭和から平成、そして令和へとハートを繋いできた雪椿まつり。同じような場面の写真も、昭和期と平成期で交互に並べました。

たくさんのお楽しみが盛り込まれた今年も、加茂市市民のみなさん、多くの方にご参加いただき、雪椿まつりを盛り上げてくださることを期待しています。

今年も加茂市市民のみなさん、多くの方にご参加いただき、雪椿まつりを盛り上げてくださることを期待しています。

毎年大いに盛り上げてくださる雪椿まつり。今年も加茂市市民のみなさん、多くの方にご参加いただき、雪椿まつりを盛り上げてくださることを期待しています。



ABOUT
YUKITSUBAKI FESTIVAL
SINCE 1967 IN KAMO, NIIGATA

第58回 雪椿まつり特設サイト
各イベント情報の詳細等は
こちらよりご確認ください
58.yukitsubaki-fes.com



EVENT CALENDAR

2024 4 APRIL						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
3/31	1	2	3	4	5	6 加茂川麓のぼり 献花祭 灯し山点灯式 ゆきつばきマルシェ
7 パレード 茶席 加茂川麓のぼり 思い出のパネル展 灯し山 加茂寄席 ゆきつばきマルシェ	8	9	10	11 思い出のパネル展	12	13 灯し山
14 加茂川麓のぼり 思い出のパネル展 灯し山 春山ハイキング	15	16	17	18	19	20
21 加茂川麓のぼり 思い出のパネル展	22	23	24	25 思い出のパネル展	26	27 カモレンジャーショー
28 加茂川麓のぼり 思い出のパネル展 カモレンジャー	29	30	5/1	2	3	4
5 加茂川麓のぼり 思い出のパネル展 カモレンジャー	6	7	8	9	10	11

SPONSOR

湯田上温泉旅館協同組合 東芝ホームテクノ株式会社 加茂市商店街協同組合 雪椿酒造株式会社
加茂市金融団 小柳建設株式会社 加茂ロータリークラブ 大野精工株式会社 有限会社宮島 加茂いけばな協会
株式会社小野塚印刷所 オトノホコ株式会社 加茂駅前地区商店街振興組合 加茂殿町商店街振興組合 加茂本町商店街振興組合
加茂仲町商店街振興組合 加茂上町商店街振興組合 加茂市五番町商店街振興組合 加茂新町雁木通り商店街振興組合 *敬称略

CONTACT

雪椿まつり実行委員会 (事務局: 加茂市役所商工観光課内)
tel.0256-52-0080 内線131 (平日8時半~17時15分)
*予告なくイベント内容を変更する場合があります。

第58回 加茂 雪椿まつり



2024 4/6 SAT — 5/5 SUN

4/14 SUN 9時～12時
(受付8時半)

*雨天決行 *要事前申込

【定員】30名
(年齢制限なし)
【参加費】1500円
(保険料・コーヒー代込)
【コース】加茂山公園→山重(休憩)
→加茂川→加茂山公園



青海神社入口の鳥居前に集合



申込はこちら

春の加茂山を歩き老舗割烹でお茶、さらに加茂川鯉のぼりを堪能する加茂の魅力満載のガイド付ハイキングイベントです。

9

春山ハイキング
(かも健康ポイント)

4/27 SAT-5/5 SUN

10時～16時
(最終日は15時まで)

27日にはショーも開催！
みんなでカモレンジャーを応援しよう！
加茂小学校
(観覧無料)
【時間】11時～11時15分



加茂山(参加無料)
加茂山に設置された6か所のチェックポイントを巡り、ゴールを目指そう！ゴールのあと、追加の隠しコースもあるかも…

10

小京都戦隊
カモレンジャーの
加茂山ジャングル冒険

加茂市役所→JR加茂駅
→加茂山公園のルート
を無料シャトルバスが巡回

第1便 9時 市役所発

最終便 21時 加茂山公園発

*概ね20分間隔で運行

ゆきつばきマルシェ開催のため、4/6(土)8時～4/7(日)17時は加茂山公園駐車場をご利用いただけません。公共交通機関か公共駐車場をご利用ください。

無料シャトル
バス運行
4/7 SUN

4/7 SUN 14時～20時



22年5月に加茂で始まった、落語の寄席をイメージした音楽イベントです。ライブの他にDJや出店など魅力的なコンテンツがいっぱい。老若男女楽しめる緑日のような雰囲気です。
清雲亭山重山の蔵
【定員】100名
【チケット】前売3000円
当日3500円



予約はこちら

8

加茂寄席×雪椿まつり
MUSIC FESTIVAL PRESENTED BY GOGHST

22年5月に加茂で始まった、落語の寄席をイメージした音楽イベントです。ライブの他にDJや出店など魅力的なコンテンツがいっぱい。老若男女楽しめる緑日のような雰囲気です。

YUKITSUBAKI FESTIVAL
EVENT MAP



Free Wi-Fiをご利用いただけます

4/6 SAT-5/7 TUE



'89年より始まり、今では春の加茂川の風物詩となつています。河川敷で500匹を超える鯉のぼりが風に泳ぐ姿は勇壮です。GWには「かもこいマルシェ」が河川敷で開催されます。

1

加茂川を泳ぐ鯉のぼり

4/6 SAT 10時～



日本の伝統文化を大切に受け継ぎ、お花への感謝と供養をいたします。どうぞ、ライトアップとともに献花したお花をお楽しみください。
青海神社拝殿
(見学無料)

2

献花祭

4/6 SAT. 7 SUN

6日 17時～21時 / 7日 10時～15時



キッチンカーや手づくり小物の販売、ワークショップもあるのど、宝探しにきてみては？
加茂山公園駐車場
HPより詳細は

3

ゆきつばきマルシェ
～美食～

4/7 SUN-5/5 SUN

10時～19時 *4/10(水)、24(水)を除く



これまでのポスターやイベントの写真(大島町との交流風景やパレードの風景写真)を展示します。懐かしい思い出と歴史をお楽しみください。
メリア3階
KAMO MACHINAKA BASE
(観覧無料)



観覧はこちら

7

雪椿まつり展示会
思い出のパネル展

4/7 SUN 開会式 8時45分～



新潟県内の強豪チームを招き、加茂市内随所に咲き誇る雪椿と共に開催される春一番の大会です。加茂市のチームは「挑戦」を合言葉にワクワクドキドキしながら戦います！
加茂勤労者
体育センター
(観戦無料)

6

第38回雪椿杯バレーボール大会

4/7 SUN 青海神社拝殿(特別参拝)・貴賓室(茶席)

午前の部
第1席 9時30分～
第2席 10時20分～
第3席 11時10分～
午後の部
第4席 12時30分～
第5席 13時20分～
第6席 14時10分～



詳細はHPより

青海神社を福宜が特別案内！お祓いをし、驚張り廊下を体験後、貴賓室にてお菓子とお抹茶をゆつくりとお楽しみください。茶道未経験の方もお気軽にご参加ください。
【定員】一席30名
【茶席券】1000円
(拝観・茶席料込)
【販売店】加茂市役所
高工観光課 他2店
*茶席券は事前販売、時間指定席になります。



ゆきつばき
来福茶席

4/6 SAT. 7 SUN. 13 SAT. 14 SUN

18時半～20時半
6日は18時からオープニングセレモニー



詳細はHPより

青海神社や加茂山に優しいあかりを灯します。オープニングを飾る6日の点灯式には、友好都市大島町を迎え、加茂の伝統芸能やよさこいの披露も。



4

灯し山



加茂市立小中学校 適正化方針（案）

2024年 月
加茂市教育委員会

目次

■ はじめに	2
I 加茂市の児童生徒数・学校施設等の現状と見込み	3
1 児童生徒数の推移	3
2 学校規模の推移	6
3 学校施設の現状	9
II 学校規模適正化の必要性	11
III 小中学校の適正規模・適正配置	13
1 小中学校の適正規模	13
2 小中学校の適正配置	14
IV 適正規模・適正配置を実現する手法	15
V 小中学校再編の方針	16
■ 資料編	21
資料1 加茂市立小中学校の通学区域及び位置	21
資料2 加茂市立小中学校の適正規模に関するアンケート【集計】	23

はじめに

市の将来ビジョンを示すために、加茂市では令和3年10月に約四半世紀ぶりとなる加茂市総合計画を策定しました。そこに描く市の将来像は「笑顔あふれるまち 加茂」です。その実現のため、「健康」とともに「教育と文化」を特に重点的に取り組む事として掲げています。教育文化の振興は、教育委員会と市とが一体となって取り組んでいるところです。

一方、少子化の影響により、児童生徒数の減少とともに1校当たりの学級数が減少する「小中学校の小規模化」が進んでいます。小中学校の小規模化は、学校における教育や生活、更には学校運営など様々な面に影響を及ぼすことが懸念されています。

また、多くの学校施設・設備が老朽化し、未耐震の施設も残っている状況であることから、安心・安全に過ごすことができる環境を整備することは喫緊の課題と言えます。

小中学校の小規模化による課題を解消し、「すべての子どもたちが学び、成長することができるまちづくり」、「安全な施設で質の高い教育を受けることができるまちづくり」を推進するには、小中学校の適正化は、子どもたちの教育環境はもとより、市民の皆様に関わる重要な課題です。

このような状況において、加茂市教育委員会は、有識者らによる諮問機関「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会」から令和4年11月にいただいた「加茂市立小中学校における適正規模・適正配置の在り方 答申 (<https://www.city.kamo.niigata.jp/docs/56698.html>)」を尊重し、令和5年1月に実施した「加茂市立小中学校適正規模等に関する市民アンケート」等の結果（資料2）を踏まえ、パブリックコメントを実施するなど、広く市民の皆様のご意見も伺いしながら検討を重ね、ここに「加茂市立小中学校適正化方針」を策定いたしました。

本方針は、加茂市の小中学校の現状や多様化する社会情勢を踏まえ、将来を担う子どもたちが伸び伸びと学び、成長していくため、より良い環境を整備する小中学校適正化の取り組みの基盤となるものです。

小中学校適正化の取り組みは、加茂市総合計画において、主に【子育て・教育】（未来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ育つまち）と連動しています。

この方針に沿って、加茂市教育委員会と加茂市がより一体となり、加茂市立小中学校の適正化の実現を目指します。市民皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

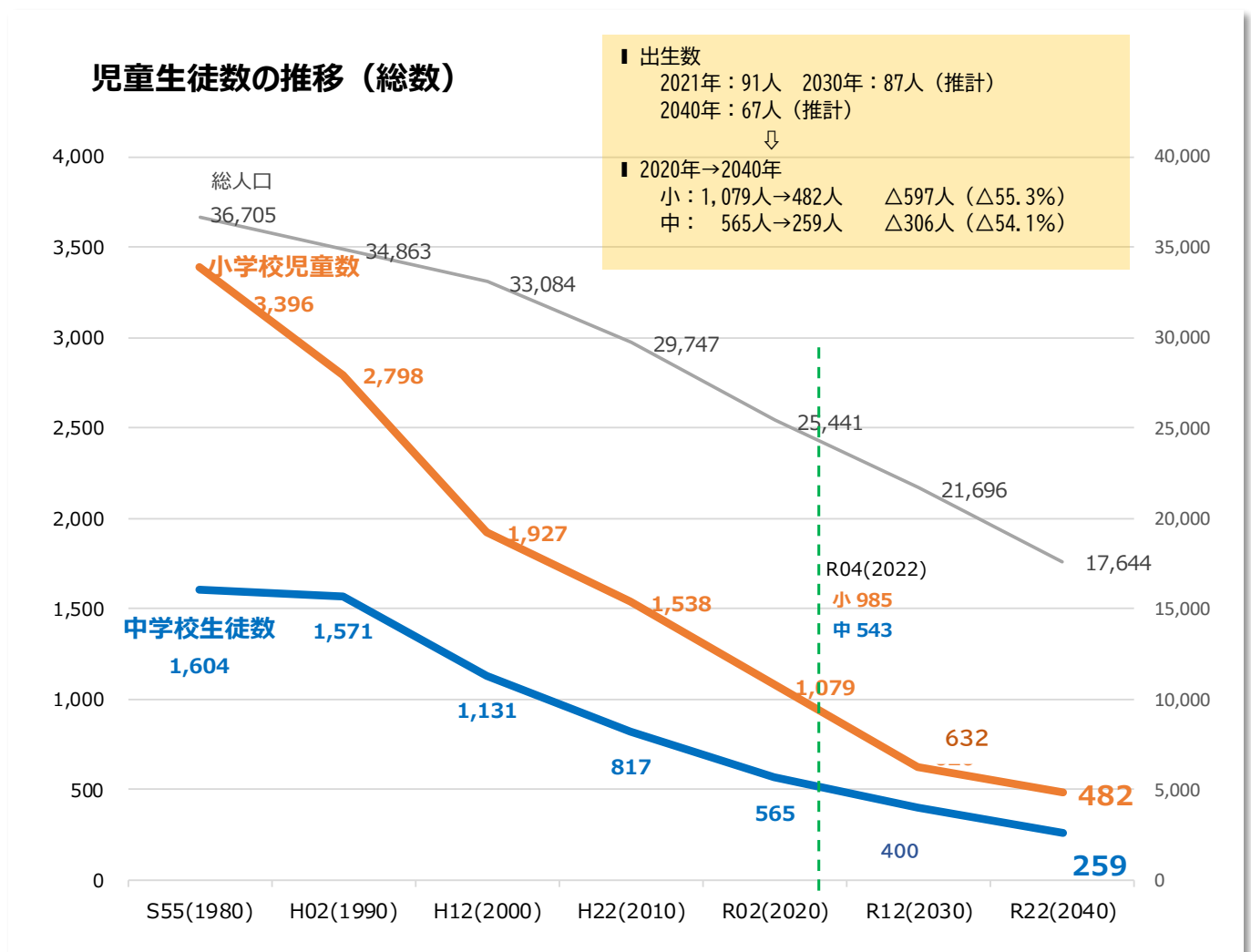
加茂市教育委員会

I 加茂市の児童生徒数・学校施設等の現状と見込み

1 児童生徒数の推移

- 加茂市の人口は、昭和 25（1950）年の 39,887 人※1 をピークとして、その後は年々減少し、令和 2（2020）年では 25,441 人（2020 年国勢調査）となりました。
- 加茂市の児童生徒数は、小学校児童数で昭和 33（1958）年の 6,044 人、中学校生徒数で昭和 37（1962）年の 3,237 人をピークとしてその後は年々減少し、昭和 55（1980）年は小学校児童数 3,396 人、中学校生徒数 1,604 人、令和 5（2023）年は小学校児童数 940 人、中学校生徒数 521 人となり、昭和 55（1980）年当時の 3 割程度となっています。
- 今後も少子化が進み、令和 22（2040）年には小学校児童数 482 人、中学校生徒数 259 人となり、更に半減すると見込んでいます。

■ 加茂市における人口・児童生徒数の推移

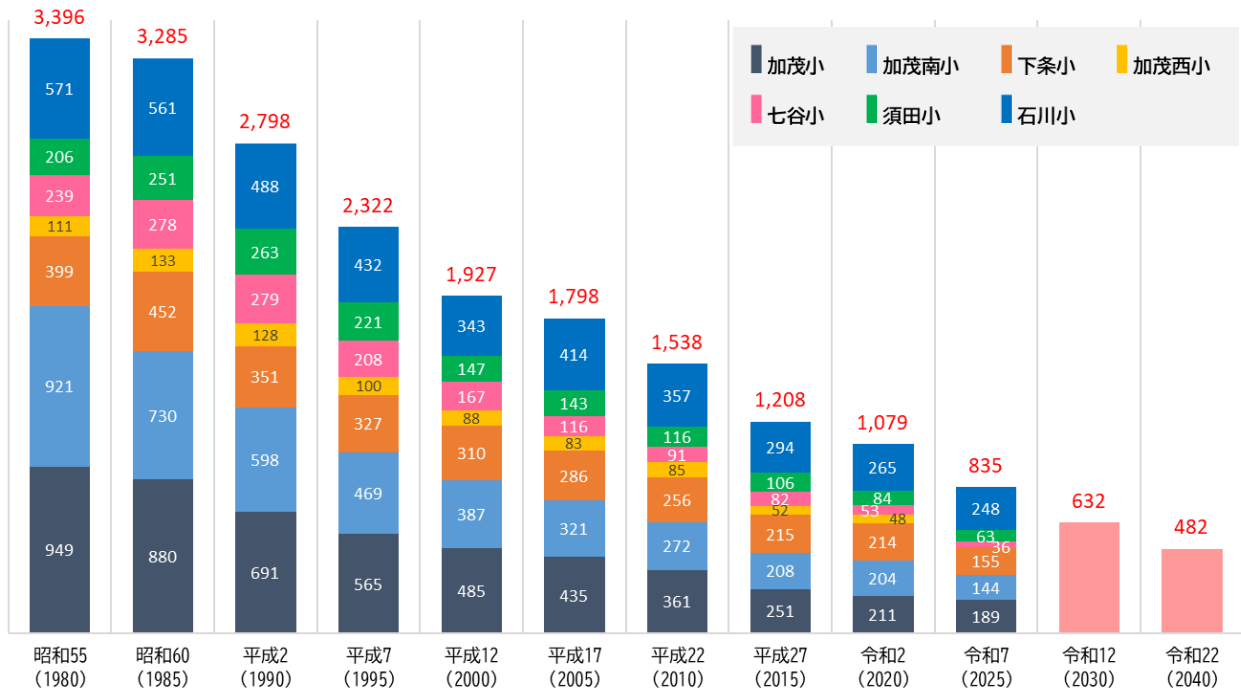


資料：加茂市教育委員会
 「人口問題研究」第 76 巻第 1 号（国立社会保障・人口問題研究所 2020 年 3 月 25 日発行（<https://www.ipss.go.jp/syoushika/bunken/sakuin/jinko/312.html>）
 に関連した研究・データを活用し、加茂市教育委員会がおおまかに推計。（R4.8 作成）R12 の数値見直し（R5.12）

※1 現在の加茂市と比較できるように加茂町、下条村、七谷村、須田村を合算したものの

■ 小学校児童数の推移

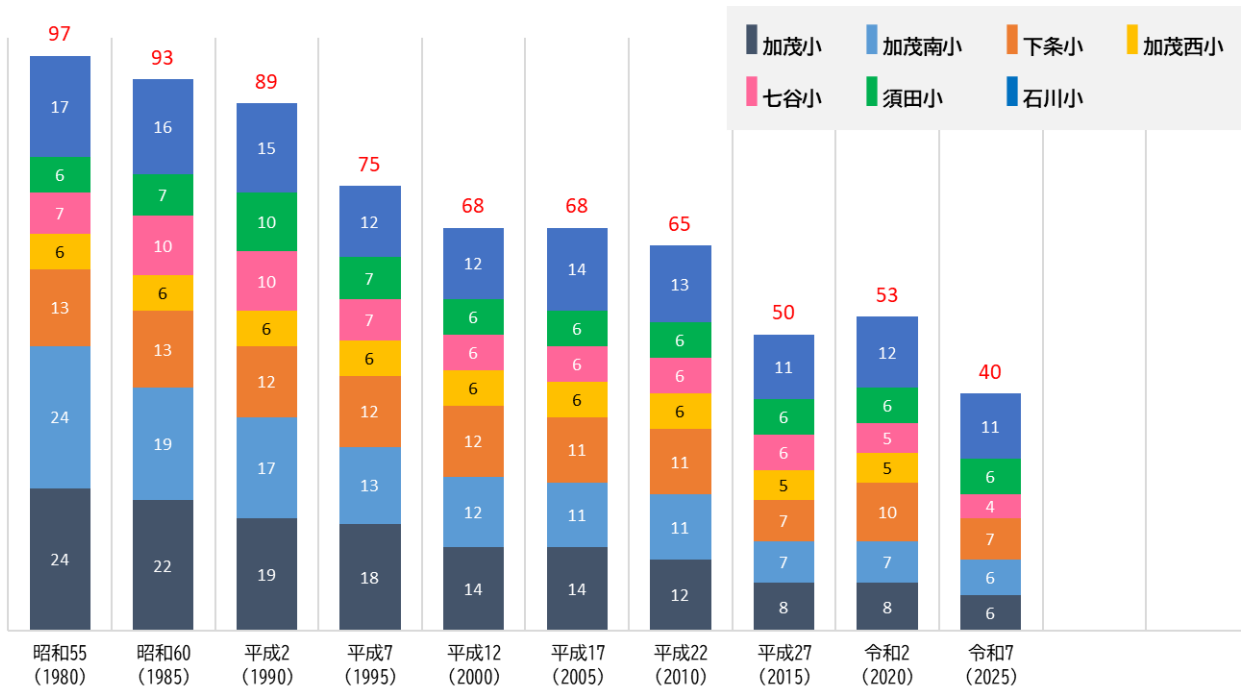
小学校別 児童数の推移



資料：加茂市教育委員会 (R5.12作成)

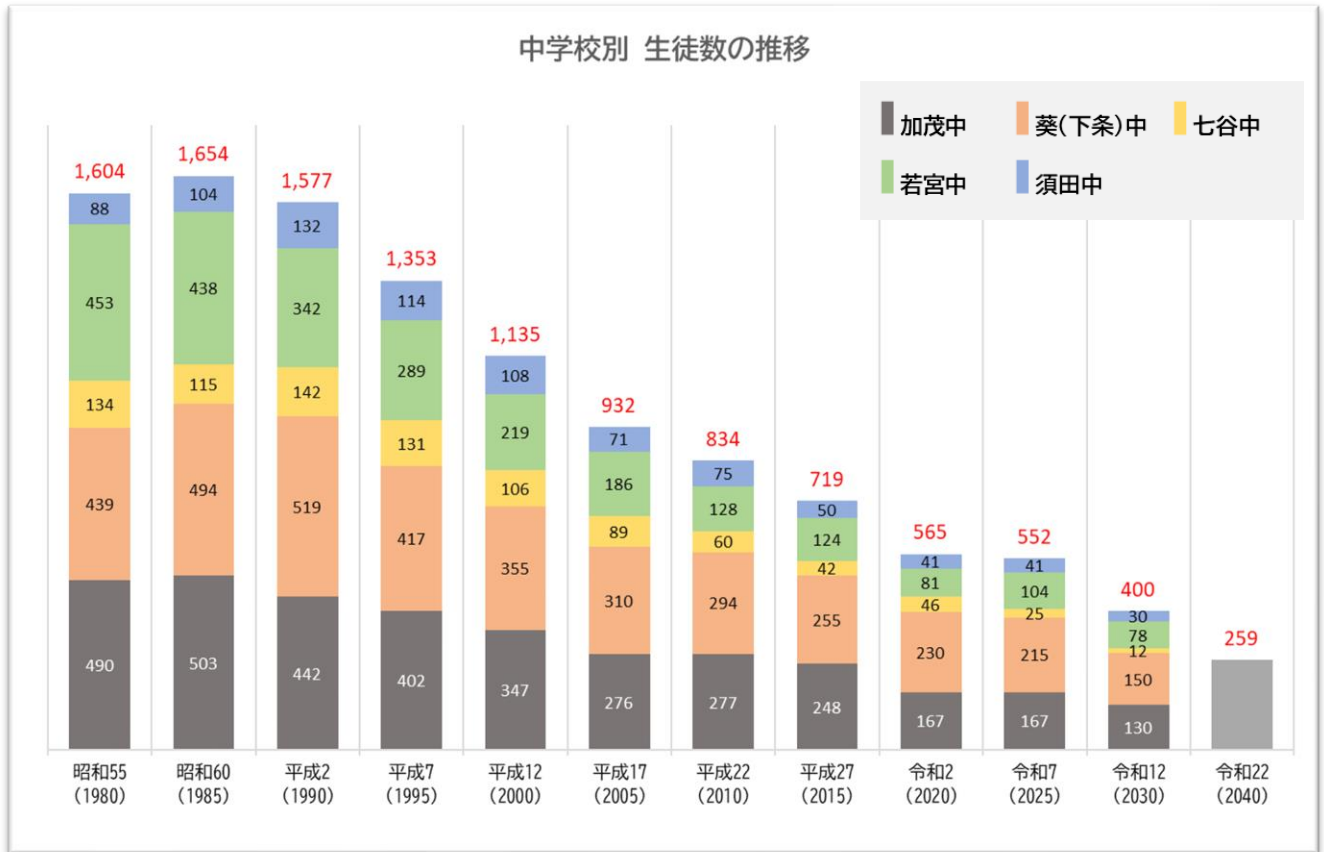
■ 小学校学級数の推移

小学校別 学級数の推移

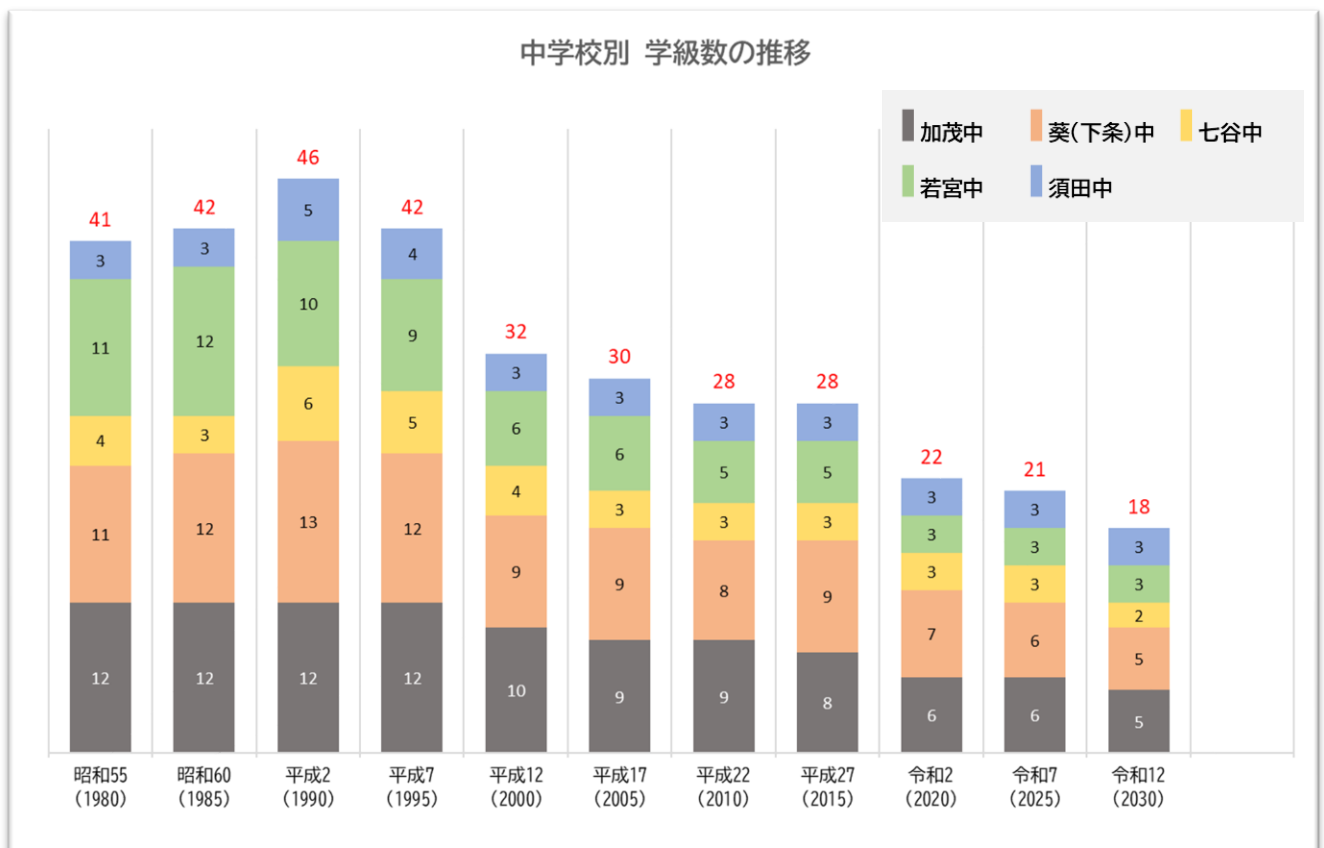


資料：加茂市教育委員会 (R5.12作成)

■ 中学校生徒数の推移



■ 中学校学級数の推移



2 学校規模の推移

- 学校規模は、国の法令上、小中学校ともに12～18学級を標準としています。
- 児童生徒数の減少に伴い、令和5（2023）年度では、小学校6校中、全学年が複数学級である「標準規模校」が0校、全学年が単学級又はいずれかの学年が単学級である「小規模校」が5校（加茂小・加茂南小・下条小・須田小・石川小）、複式学級が生じるほどの「過小規模校」が1校（七谷小）となっています。中学校5校中、「標準規模校」は0校で、全5校が「小規模校」となっています。

■ 小学校の見込み

- 現在、一部単学級で運営している七谷小学校は、今後も毎年複式学級が発生し、令和9年度には全学年が複式学級の対象になる見込みです。
- 令和9年度には、過小規模校の七谷小学校の他、石川小学校を除く4小学校も全学年で単学級となる見込みです。

■ 中学校の見込み

- 今後も生徒数減は継続するものの、今のところ令和9年度までは学級数及び配当教職員数には影響はありません。
- 七谷中学校では令和14年度から複式学級が発生する見込みです。
- 全ての中学校が小規模校に分類されていますが、令和14年度には七谷中学校が過小規模校に分類される見込みです。

【参考】 法令等から見た適正規模

■ 学校教育法施行規則（昭和22年5月23日文科科学省令第11号）

第41条 小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

※ 同条の規定は、第79条で中学校に準用。

■ 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（昭和33年6月27日政令第189号）

（適正な学校規模の条件）

第4条 法第3条第1項の第4号の適正な規模の条件は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 学級数がおおむね12学級から18学級までであること。
- (2) 通学距離が、小学校にあってはおおむね4km以内、中学校にあってはおおむね6km以内であること。

■ 令和6年度 学級編制基準（新潟県）

単式学級	小学校	1～5学年 原則35人以下 (1・2学年は32人以下も可)	6学年 原則40人以下 (弾力的運用により35人以下も可)
	中学校	原則40人以下	
複式学級	小学校	引き続く2学年の合計が16人以下 (1学年を含む場合は8人以下)	
	中学校	引き続く2学年の合計が8人以下	

■ 小学校

平成17（2005）年度

黒：1学級 青：2学級 緑：3学級 赤：複式学級

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂小	56	66	73	68	78	94	435	14	標準規模校(12～18学級)
加茂南小	55	54	54	40	64	54	321	11	小規模校(6～11学級)
下条小	57	30	58	49	41	51	286	11	小規模校(6～11学級)
加茂西小	18	14	13	14	10	14	83	6	小規模校(6～11学級)
七谷小	16	17	20	21	24	18	116	6	小規模校(6～11学級)
須田小	19	24	23	34	23	20	143	6	小規模校(6～11学級)
石川小	57	69	75	66	84	63	414	14	標準規模校(12～18学級)
計	278	274	316	292	324	314	1,798	68	

平成27（2015）年度

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂小	31	35	42	48	41	54	251	8	小規模校(6～11学級)
加茂南小	40	25	33	31	42	37	208	7	小規模校(6～11学級)
下条小	31	41	37	34	36	36	215	7	小規模校(6～11学級)
加茂西小	6	10	11	5	12	8	52	5	過小規模校(1～5学級)
七谷小	13	20	8	22	10	9	82	6	小規模校(6～11学級)
須田小	18	20	20	22	19	17	106	6	小規模校(6～11学級)
石川小	47	49	40	46	54	58	294	11	小規模校(6～11学級)
計	186	200	191	198	214	219	1,208	50	

※加茂西小は計算上「複式学級」であるが、教員加配により「単学級」を維持。

令和3（2021）年度

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂小	26	30	37	33	36	21	183	8	小規模校(6～11学級)
加茂南小	19	22	31	31	31	27	161	6	小規模校(6～11学級)
下条小	26	37	38	28	34	41	204	9	小規模校(6～11学級)
加茂西小	0	6	6	8	7	13	40	3	過小規模校(1～5学級)
七谷小	12	10	4	13	6	6	51	4	過小規模校(1～5学級)
須田小	10	11	16	14	10	15	76	6	小規模校(6～11学級)
石川小	39	38	42	45	40	43	247	12	標準規模校(12～18学級)
計	132	154	174	172	164	166	962	48	

※加茂西小と七谷小は計算上「複式学級」であるが、教員加配により「単学級」を維持。

令和6（2024）年度（試算）

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂小	28	32	33	32	35	42	202	7	小規模校(6～11学級)
加茂南小	29	29	20	23	24	35	160	6	小規模校(6～11学級)
下条小	19	29	24	25	38	37	172	7	小規模校(6～11学級)
加茂西小	-	-	-	-	-	-	-	-	-
七谷小	4	3	3	13	9	4	36	4	過小規模校(1～5学級)
須田小	8	12	10	10	13	16	69	6	小規模校(6～11学級)
石川小	43	32	36	41	49	49	250	11	小規模校(6～11学級)
計	131	137	126	144	168	183	889	41	

※R4.3 加茂西小閉校 → R4.4 石川小と統合

令和9（2027）年度（試算）

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂小	23	28	29	28	32	33	173	6	小規模校(6～11学級)
加茂南小	15	13	17	29	29	20	123	6	小規模校(6～11学級)
下条小	22	24	20	19	29	24	138	6	小規模校(6～11学級)
加茂西小	-	-	-	-	-	-	-	-	-
七谷小	4	4	3	5	3	3	22	3	過小規模校(1～5学級)
須田小	4	12	10	8	12	10	56	6	小規模校(6～11学級)
石川小	29	39	49	43	32	36	228	10	小規模校(6～11学級)
計	97	120	128	132	137	126	740	37	

試算部分の学級数は1～6年生まで35人以下で試算した。

資料：加茂市教育委員会

「学校規模の分類」及び「学級数」は、「公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き」等から引用（R5.12作成）

■ 中学校

平成17（2005）年度

黒：1学級 青：2学級 緑：3学級 赤：複式学級

学校名	1年	2年	3年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂中	82	92	102	276	9	小規模校(3~11学級)
葵中	108	101	101	310	9	小規模校(3~11学級)
七谷中	31	38	20	89	3	小規模校(3~11学級)
若宮中	65	64	57	186	6	小規模校(3~11学級)
須田中	26	27	18	71	3	小規模校(3~11学級)
計	312	322	298	932	30	



平成27（2015）年度

学校名	1年	2年	3年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂中	60	87	101	248	7	小規模校(3~11学級)
葵中	83	89	83	255	9	小規模校(3~11学級)
七谷中	13	14	15	42	3	小規模校(3~11学級)
若宮中	31	47	46	124	5	小規模校(3~11学級)
須田中	13	20	17	50	3	小規模校(3~11学級)
計	200	257	262	719	27	



令和3（2021）年度

学校名	1年	2年	3年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂中	47	58	54	159	6	小規模校(3~11学級)
葵中	61	82	61	204	7	小規模校(3~11学級)
七谷中	11	17	7	35	3	小規模校(3~11学級)
若宮中	33	16	30	79	3	小規模校(3~11学級)
須田中	16	17	15	48	3	小規模校(3~11学級)
計	168	190	167	525	22	



令和9（2027）年度（試算）

学校名	1年	2年	3年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂中	48	52	56	156	6	小規模校(3~11学級)
葵中	56	71	75	202	6	小規模校(3~11学級)
七谷中	13	6	5	24	3	小規模校(3~11学級)
若宮中	20	26	32	78	3	小規模校(3~11学級)
須田中	11	13	17	41	3	小規模校(3~11学級)
計	148	168	185	501	21	



令和15（2033）年度（試算）

学校名	1年	2年	3年	計	総学級数	学校規模の分類
加茂中	32	44	45	121	5	小規模校(3~11学級)
葵中	42	47	53	142	6	小規模校(3~11学級)
七谷中	4	4	3	11	2	過小規模校(1~2学級)
若宮中	15	13	19	47	3	小規模校(3~11学級)
須田中	4	12	10	26	3	小規模校(3~11学級)
計	97	120	130	347	19	

資料：加茂市教育委員会

「学校規模の分類」及び「学級数」は、「公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き」等から引用（R5.12作成）

3 学校施設の現状

- 全体の状況としては、築 40 年以上の建物が全体の 74%、更に築 50 年以上の建物が全体の 38% であり、築年数に比例して経年劣化が進んでいます。
- 耐震化については、平成 20 年度から災害避難所でもある体育館を優先的に実施、完了後は校舎の耐震化に着手しているところですが、令和 5 (2023) 年 4 月現在の耐震化率※2は 69.7% (23/33 棟) で、全国の市町村で最下位となっています。
- 令和 4 (2022) 年度に開始した石川小学校校舎の耐震補強工事が、令和 5 年 (2023) 年度に完了したため耐震化率は 78.8%になりました。

■ 小学校

1. 加茂小学校

▼ 築60年になる年

①前・中校舎	S41(1966)年建築 → 築57年経過	R08(2026)年	耐震化済
②後校舎	S55(1980)年建築 → 築43年経過	R22(2040)年	耐震診断未実施
③図書館・プール棟	S43(1968)年建築 → 築55年経過	R10(2028)年	耐震診断未実施
④体育館棟	S56(1981)年建築 → 築42年経過	R23(2041)年	耐震化済

2. 加茂南小学校

①校舎 (2F体育館含む)	H8(1996)年建築 → 築26年経過	R38(2056)年	耐震化不要
---------------	----------------------	------------	-------

3. 下条小学校

①教室・管理棟	S44(1969)年建築 → 築54年経過	R11(2029)年	耐震診断未実施
②教室棟【増築部】	S51(1976)年建築 → 築47年経過	R18(2036)年	耐震診断未実施
③体育館棟	S44(1969)年建築 → 築53年経過	R11(2029)年	耐震化済
④給食室棟	S37(1962)年建築 → 築61年経過	R04(2022)年	耐震化非該当

4. 七谷小学校

①教室・管理棟	S48(1973)年建築 → 築50年経過	R15(2033)年	耐震診断未実施
②特別教室棟	H5(1993)年建築 → 築30年経過	R35(2053)年	耐震化不要
③体育館棟	H2(1990)年建築 → 築33年経過	R32(2050)年	耐震化不要

5. 須田小学校

①前校舎	S43(1968)年建築 → 築55年経過	R10(2028)年	耐震診断未実施
②後校舎	S62(1987)年建築 → 築36年経過	R29(2047)年	耐震化不要
③体育館棟	S43(1968)年建築 → 築55年経過	R10(2028)年	耐震化済

6. 石川小学校

①管理・特別教室棟	S54(1979)年建築 → 築44年経過	R21(2039)年	耐震化済
②中高学年棟	S54(1979)年建築 → 築44年経過	R21(2039)年	耐震化済
③プール棟・低学年棟	S54(1979)年建築 → 築44年経過	R21(2039)年	耐震化済
④体育館棟	S54(1979)年建築 → 築43年経過	R21(2039)年	耐震化済

資料：加茂市教育委員会 (R5.10 作成)
棟を別として建築している校舎もありますが、この表では1つとして表記しています。

※2 「(学校施設の) 耐震化率」

全建物のうち、耐震性がある棟数(昭和 57 年以降建築の棟数及び、昭和 56 年以前建築で耐震性がある棟と耐震補強済みの棟)の割合。学校施設は、児童生徒の学習や生活の場であるとともに、地震などの災害時には地域住民の避難場所等ともなることから、耐震化によって安全性を確保することは極めて重要である。国土交通省では、安全の目安として Is 値(非木造の構造耐震指標)を 0.6 以上(震度 6 強の地震に対して倒壊、または崩壊する可能性が低い)としているが、学校施設については児童生徒の安全を特に考慮して、必要な Is 値を 0.7 以上と定めている。文部科学省の「公立学校施設の耐震改修状況フォローアップ調査の結果」によれば、「耐震化率が下位の市町村(小中学校)」において、加茂市は令和 3 年度で全国 3 位(66.7%)、令和 4 年度で全国 2 位(69.7%)、令和 5 年度で全国 1 位(69.7%)となっている。

■ 中学校

7. 加茂中学校

▼ 築60年になる年

①校舎棟	S58(1983)年建築	⇒ 築40年経過	R25(2043)年	耐震化不要
②体育館棟	S46(1971)年建築	⇒ 築51年経過	R13(2031)年	耐震化済

8. 葵中学校

①校舎棟	S49(1974)年建築	⇒ 築48年経過	R16(2034)年	耐震化済
②校舎棟【増築部】	S53(1978)年建築	⇒ 築44年経過	R20(2038)年	耐震診断未実施
③体育館等	S48(1973)年建築	⇒ 築49年経過	R15(2033)年	耐震化済

9. 七谷中学校

①管理・教室棟	S51(1976)年建築	⇒ 築47年経過	R18(2036)年	耐震診断未実施
②特別教室棟	S35(1960)年建築	⇒ 築63年経過	R02(2020)年	耐震化非該当
③体育館棟	S30(1955)年建築	⇒ 築67年経過	H27(2015)年	耐震化済

10. 若宮中学校

①校舎棟	S61(1986)年建築	⇒ 築37年経過	R28(2046)年	耐震化不要
②体育館棟	S29(1954)年建築	⇒ 築69年経過	H26(2014)年	耐震化済

11. 須田中学校

①校舎棟	S60(1985)年建築	⇒ 築38年経過	R27(2045)年	耐震化不要
②体育館棟	S32(1957)年建築	⇒ 築65年経過	H29(2017)年	耐震化済

資料：加茂市教育委員会（R5.10 作成）

棟を別として建築している校舎もありますが、この表では1つとして表記しています。

II 学校規模適正化の必要性

全国的な少子化が進む中、加茂市でも少子化に起因する児童生徒数の減少及び学校の小規模化が顕著となっています。

既に一部の小学校では複式学級が発生しており、常態化することが推測されます。

また、昭和40年代から50年代に建設された築40年を超えた校舎が多く、老朽化が進んでいるため、将来を見据えた学校環境の在り方が喫緊の課題となっています。

小規模校では、教職員が子どもたち一人一人にきめ細かく関わることができやすいなどのメリットがありますが、以下のような課題が生じることが考えられます。

こうした現状を踏まえ、今後の子どもたちにとっての望ましい教育環境を整備するために、学校規模の適正化を進める必要があります。

1 教育面における課題

● 複数学級の確保

子どもたちが豊かな人間関係を構築していくには、多様な価値観に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する環境が必要です。クラス替えは人間関係の固定化を防ぐだけではなく、新たな仲間と出会い、仲間を増やすことで自分自身の資質を更に伸ばすきっかけとなり、コミュニケーション能力や環境の変化にも柔軟に対応する能力の向上が期待できます。したがって、小中学校の全学年に複数学級を確保することが望まれます。

● 集団での教育活動等の充実

小中学校では、運動会（体育祭）や学習発表会、中学校の部活動などの様々な集団教育活動は、子どもたちが活躍できる場を保障するとともに、集団（や社会）の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら自己を生かす能力、集団として意見をまとめていく能力などの向上が期待できます。また、目標に向かって一丸となって全力で取り組むことの大切さ、互いの健闘をたたえ合うことの素晴らしさを学ぶことにも繋がります。したがって、充実した集団教育活動等を展開できる規模の児童生徒数を確保することが望まれます。

2 学校運営面における課題

● 教員の人数の確保と質の向上

小中学校に配当される教員数は、原則、各学校の学級数に応じて決められています。一定の教員数が確保されることにより、次のような効果が期待でき、質の向上にも繋がるものと考えます。

- ① 経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教員配置やそれらを生かした指導体制を構築し、教員同士が切磋琢磨することができる。
- ② 教員個人の力量への依存度が軽減され、教育活動が人事異動に過度に左右されたり、教員数が毎年変動することによる不安定な学校経営を防ぐことができる。
- ③ 中学校の免許外指導教科の発生を防ぐことができる。
- ④ 学校が直面する様々な課題に対し、組織的に対応しやすい。
- ⑤ 子どもたちの良さが多面的に評価され、多様な価値観に触れさせることができる。
- ⑥ 校外研修の時間を確保できる。
- ⑦ クラブ活動や部活動の指導者が確保しやすい。

3 学校施設面における課題

● 安全安心な教育環境

小中学校の校舎及び給食調理場の老朽化が目立っています。仮に全 11 校の建物（学校給食調理場等を含む）を今後も維持していくとなれば、耐震補強工事や長寿命化工事に必要な経費が約 110 億円※3になると試算しています。一方、新校舎等の建設には 1 校当たり約 40 億円※4（用地取得費用、備品購入費等を含まない）の経費が必要になると試算しています。市の財政状況を踏まえつつ、国の補助金等を積極的に活用しながら、将来に渡って子どもたちが安全安心な学校生活を送ることができる環境を確保する必要があります。

※3 ※4 「面積×㎡単価」から試算した概算費。(R5.5 試算、将来的な資材の価格変動等は考慮せず。)

【参考】国土交通省「建築着工統計調査」

https://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html

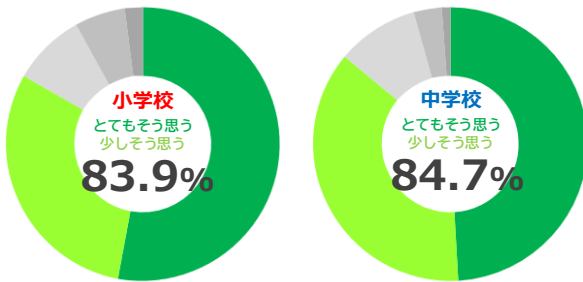
文部科学省「公立学校施設費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目」(平成 18 年 7 月 13 日 18 文科施第 188 号)

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/06/04/1347810_07.pdf

【参考】 加茂市立小中学校の適正規模等に関するアンケート結果（抜粋）

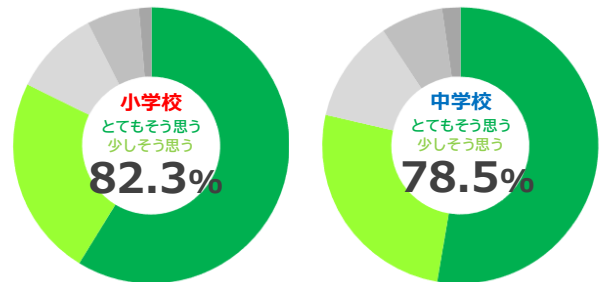
(小規模校のデメリット)

- クラス替えができないので、人間関係が固定化し、修復が難しい。



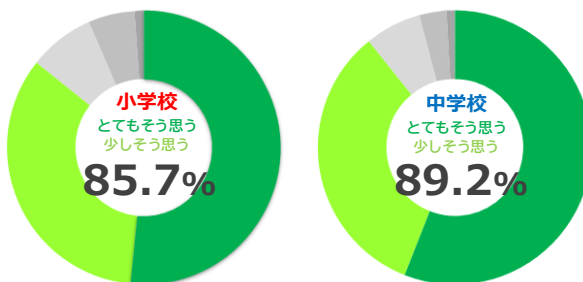
(小規模校のデメリット)

- P T A 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなる。



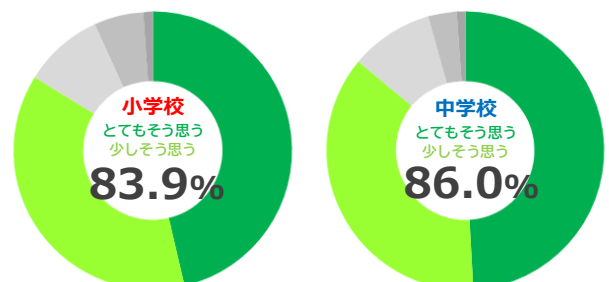
(統合のメリット)

- クラス替えが可能となり、より大きな集団の中で多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多い。



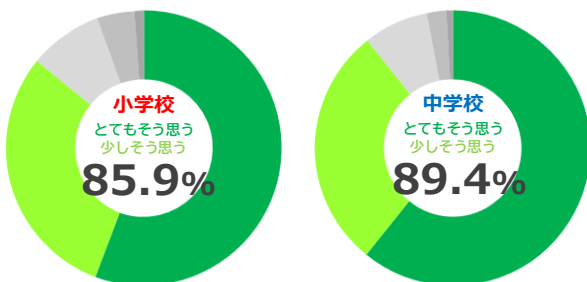
(統合のメリット)

- コミュニケーション能力や環境の変化に対応する能力が向上しやすい。



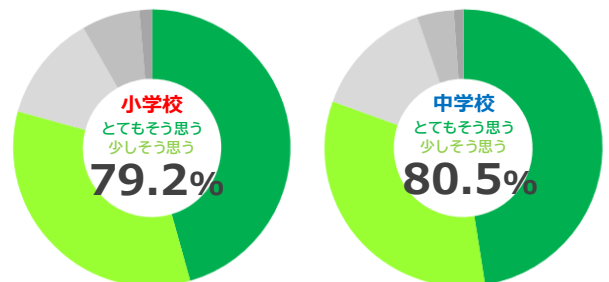
(統合のメリット)

- 運動会（体育祭）や音楽発表会（合唱コンクール）などが充実し、活性化する。部活動においても選択の幅が広がり、活性化する。



(統合のメリット)

- 学級数が増えると教員も増えるので、全教科に免許所有の教員を確保し、バランスのとれた教員配置及び指導体制を構築しやすい。



Ⅲ 小中学校の適正規模・適正配置

「加茂市立小中学校における適正規模・適正配置の在り方 答申」及び「加茂市立小中学校適正規模等に関する市民アンケート」を踏まえ、子どもたちの教育面や学校運営面から総合的に検討し、加茂市における適正な学校規模・適正配置を以下のとおりとします。

1 小中学校の適正規模

小中学校の適正規模

小学校 12～18 学級（各学年2～3学級）

中学校 9～18 学級（各学年3～6学級）

■ 小学校における観点

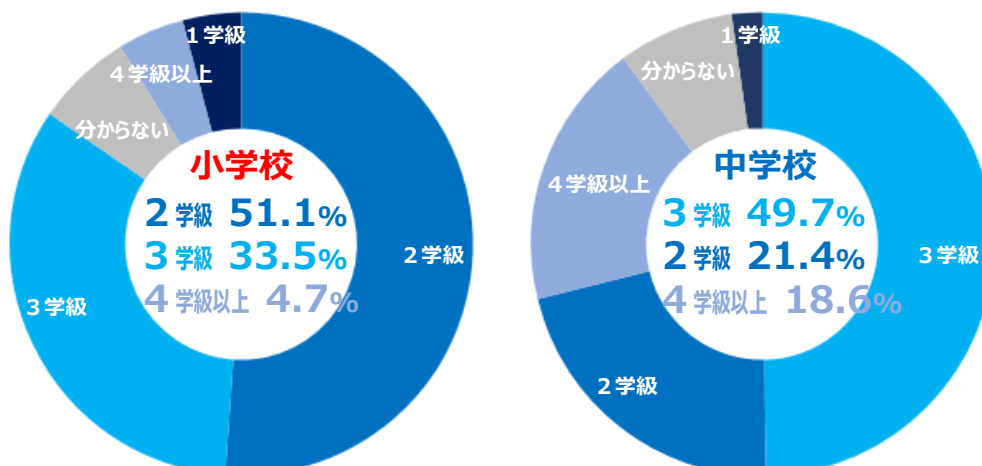
- 新たな出会いや多様な考えに接し、豊かな人間関係を育むため、全学年でクラス替えを可能とする1学年2学級以上（12学級以上）を適正な学校規模とします。
- 一定の教員数が確保でき、同学年の教職員による指導面の連携や協力が可能になるとともに、子どもたちの主体性を育むクラブ活動や委員会活動の指導に広がりが出てきます。

■ 中学校における観点

- 中学校においても、全学年でクラス替えを可能とし、全教科において免許所有の教員を配置（国語・社会・数学・理科・外国語の5教科には複数の教員配置）し、かつ充実した集団教育活動等の運営を可能とする1学年3学級以上（9学級以上）を適正な学校規模とします。
- 一定の生徒数及び教員数が確保できることで、部活動については、将来的な地域移行等※5を見据えつつ、安定した運営を図ることができるとともに、チーム編成がより充実し、指導する教員もより確保しやすくなります。

【参考】 加茂市立小中学校の適正規模等に関するアンケート結果（抜粋）

■ 1学年当たりの学級数は、どの程度が良いと考えますか？



2 小中学校の適正配置

小中学校の適正配置〔原則〕

通学距離（片道）：小学校 概ね4 km 以内、中学校 概ね6 km 以内

通学時間（片道）：小・中学校とも概ね1 時間以内

- これまで安心安全な通学を図るため、加茂市では市内の広域にスクールバスを運行してきた実績があります。国の基準※6を踏まえつつ、山間部等の地理的状況や冬期の気象状況等を考慮し、子どもたちの負担をできる限り軽減できる工夫を講じます。

※5 「(学校部活動の) 地域移行等」

学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の推進とともに、学校部活動の地域連携並びに地域の運営団体・実施主体による地域スポーツクラブ活動及び地域文化クラブ活動（以下「地域クラブ活動」という。）への移行に取り組むべく、令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁は「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）を策定した。

ガイドラインでは、改革の趣旨等について、「① 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行は、将来にわたり生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するために重要であること。② 地域クラブ活動は、地域の運営団体・実施主体が行うことになる一方、生徒の望ましい成長のため、学校との連携が重要であること。③ 生徒のスポーツ・文化芸術環境をめぐる状況は、地域によって異なるため、運営団体・実施主体の在り方をはじめ、地域クラブ活動の整備方法等は地域の実情に応じた多様な方法があることや、学校部活動の地域連携から取り組むなど段階的な体制整備を進めることが考えられること。また、休日の学校部活動の地域連携や地域移行の達成時期について、国としては一律に定めず、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すことを示していること。」としている。

■ スポーツ庁 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月）」

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/1405720_00014.htm

※6 「国の基準」

○ 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（昭和33年6月27日 政令第189号）（抜粋）

第4条 第1項 第2号 適正な規模の条件

通学距離が、小学校にあってはおおむね4キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあってはおおむね6キロメートル以内であること

○ 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（平成27年1月27日 文部科学省）（抜粋）

適切な交通手段が確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つということを前提として、通学時間について、「おおむね1時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて1時間以上や1時間以内に設定することの適否も含めた判断を行うことが適当であると考えられます。

IV 適正規模・適正配置を実現する手法

「加茂市立小中学校における適正規模・適正配置の在り方 答申」では、学校規模の適正化を図るための主な手法として、「通学区域（資料1）の見直し」、「教育課程特例校等※7の導入」、「学校の統合」が示されました。

加茂市の実情を踏まえ検討した結果、加茂市教育委員会として、学校規模の適正化を図る手法としては「学校の統合」が最も有効な手法であると考えます。

1 通学区域の見直し

- 通学区域を見直し、各小中学校における児童生徒数の平準化を行ったとしても、そもそも児童生徒数が減少している状況では、全ての小中学校を適正規模校とすることは困難である。

2 教育課程特例校等の導入

- 加茂市独自の教育を検討することは重要であり、学校が特性を持つことは適正化を図る手法として教育課程特例校等の制度を導入することが考えられる。
- 将来的には児童生徒数の増加が見込めるかもしれないが、大きな増加は期待できない。
- 導入に当たっては教職員に業務量の増加が見込まれ、導入後は「持続可能性」が課題となる。

3 学校の統合

- 今後も児童生徒数の減少が続く状況では、学校を統合して集約することにより、児童生徒数及び教員数を確保することが学校規模の適正化を図る有効な手法であり、より良い教育環境の整備に繋がる。
- 学校数が減少することで、校舎の営繕を財政的に集約することができ、計画的に大規模改修工事を実施し、長寿命化にも繋がる。
- 学校までの距離が遠くなる場合があるため、通学の安全確保（スクールバスの運行等）に配慮することが課題となる。
- 学校の統合に併せ、魅力的な教育を実践し、「通いたい・通わせたい学校づくり」を発信することで、将来的に児童生徒数の増加に繋がる。

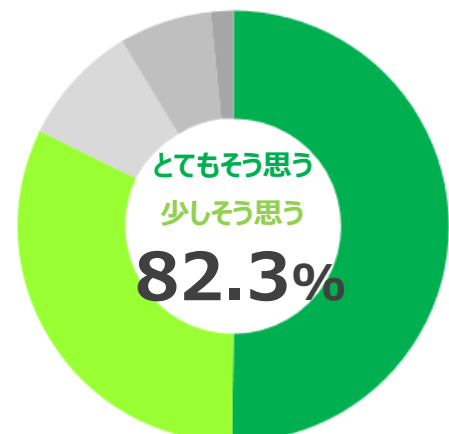
※7 「教育課程特例校（-等）」

学校または地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するための特別の教育課程を編成することを認める制度（学校教育法施行規則第55条の2）。総合的な学習の時間や教科の時間を削減し、学校や地域の特性を生かした新しい教科を設置することができる。主な取り組みとしては、小学校低学年からの早期または独自の英語教育（新教科「国際科」）、既存教科を英語で実施（イマージョン教育）、ふるさとや郷土に関する取り組み（新教科「栗原ふるさと科」（宮城県））、特定テーマに関する取り組み（新教科「日本語」）がある。指定機関数：207件、指定学校数：1,768校（R3.4.1現在）。

なお、本方針における「教育課程特例校等」の「等」は、小中一貫教育（小学校6年間と中学校3年間の接続の円滑化を図り、9年間を通じて体系的な教育課程を編成する教育体系。義務教育の枠組みを自治体の判断で「4・3・2制」や「5・4制」など柔軟に対応できる。）及び小規模特認校制度（学校選択制の一種であり、特色ある学校運営を進める小規模校において、通学区域に関係なく市内のどこからでも就学を認める制度。）のほか、学習指導要領等によらない教育課程編成を認める制度（例：義務教育学校、研究開発校等）全般を指すものとしている。

【参考】 加茂市立小中学校の適正規模等に関するアンケート結果（抜粋）

- より良い教育環境を目指すという観点から学校の統合が選択肢のひとつとして適切だと考えますか？



V 小中学校再編の方針

小中学校の適正規模・適正配置を踏まえ、学校の統合による小中学校の再編に関する基本的な方針を次のとおりとします。

1 学校数

■ 小学校

- まずは複式学級を解消し、適正規模を見据え2校に再編します。
- 児童数を見据え、必要により1校に再編します。

■ 中学校

- 専門教科教員による教育を保障し、適正規模を実現するために1校に再編します。

2 再編の時期

- 中学校においては、専門教科教員による教育を保障し、部活動では意欲的に活動できるよう生徒の選択肢を増やす必要があるため、財政の負荷を念頭に置き、令和10年代初頭を目標に再編します。なお、中学校の再編は小学校の再編より先行します。
- 小学校においては、中学校の再編と並行して準備を進め、校舎の老朽化と財政負荷を念頭に置き、令和10年代初頭を目標に再編します。

3 新校舎の建設と既存校舎の活用

- 中学校においては、財政負荷を念頭に置き、新設もしくは増改築により学習環境をよりよくするための環境整備を行います。新設を行う場合、市有地を第一候補として、施設の効率的な運営を図るため、公共施設と複合化した先進的な新校舎の建設を目指します。
- 小学校においては、財政負荷を念頭に置き、耐震補強工事が完了した既存校舎を活用しながら再編を進めます。

4 学校給食について

- 給食提供については、アレルギー食対応を含めて小中学校全体の給食提供のあり方について検討を進め、センター方式での実施について検討していきます。

5 学校プールについて

- 学校プールは、利用期間に対して設置・維持管理費用が高額になり、費用対効果に議論の出る施設です。加茂市では、室内温水プールが整備されていることから、加茂市温水プールの学校利用を検討していきます。

6 児童生徒等への配慮

- 国及び加茂市の基準である「通学距離（片道）小学校4km・中学校6km又は通学時間（片道）概ね1時間以内を踏まえつつ、セーフティスタッフの配置を含む地域との連携、スクールバスの運行、市民バスなど公共交通機関と連携し、安全安心な通学を確保します。
- 再編に伴う児童生徒の不安や負担等をできるだけ軽減し、新たな学校生活に円滑に移行できるよう、

学校間の事前交流を行い、教員の配置等に配慮します。

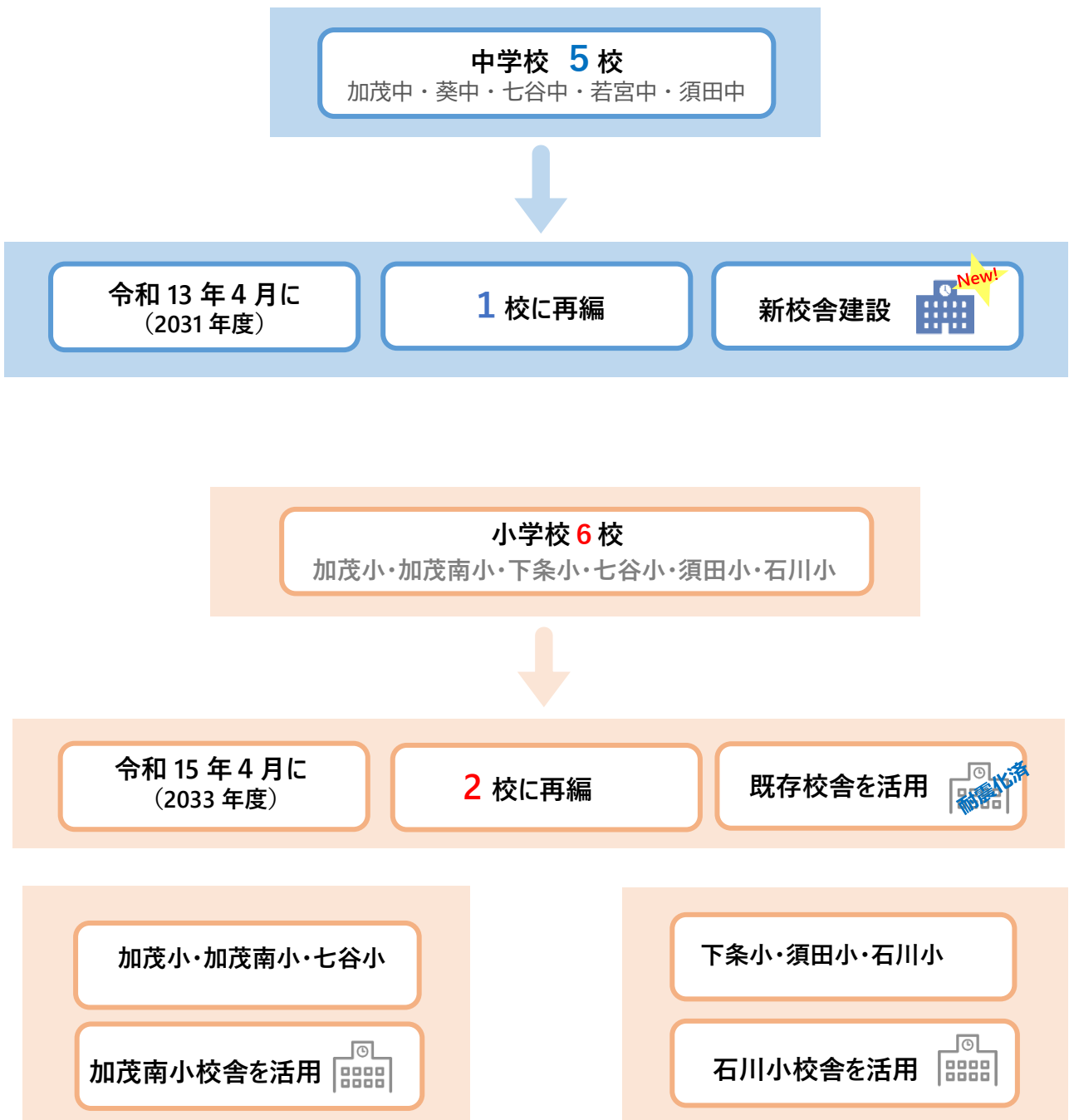
- 通学地域の変更にあたり、保護者の一体感の醸成に努め、制服の仕様等様々な課題について新たな負担を抑えるよう配慮します。

7 小中学校再編の流れ

小中学校の再編にあたっては、適正規模を実現するための児童生徒数、既存施設の規模、加茂市の財政状況、校舎の新築又は増改築を考慮し進める必要があります。以下にそれらを考慮した再編の流れを例示します。(各シミュレーションは令和6(2024)年6月頃に再編事業を開始できた場合のものです)

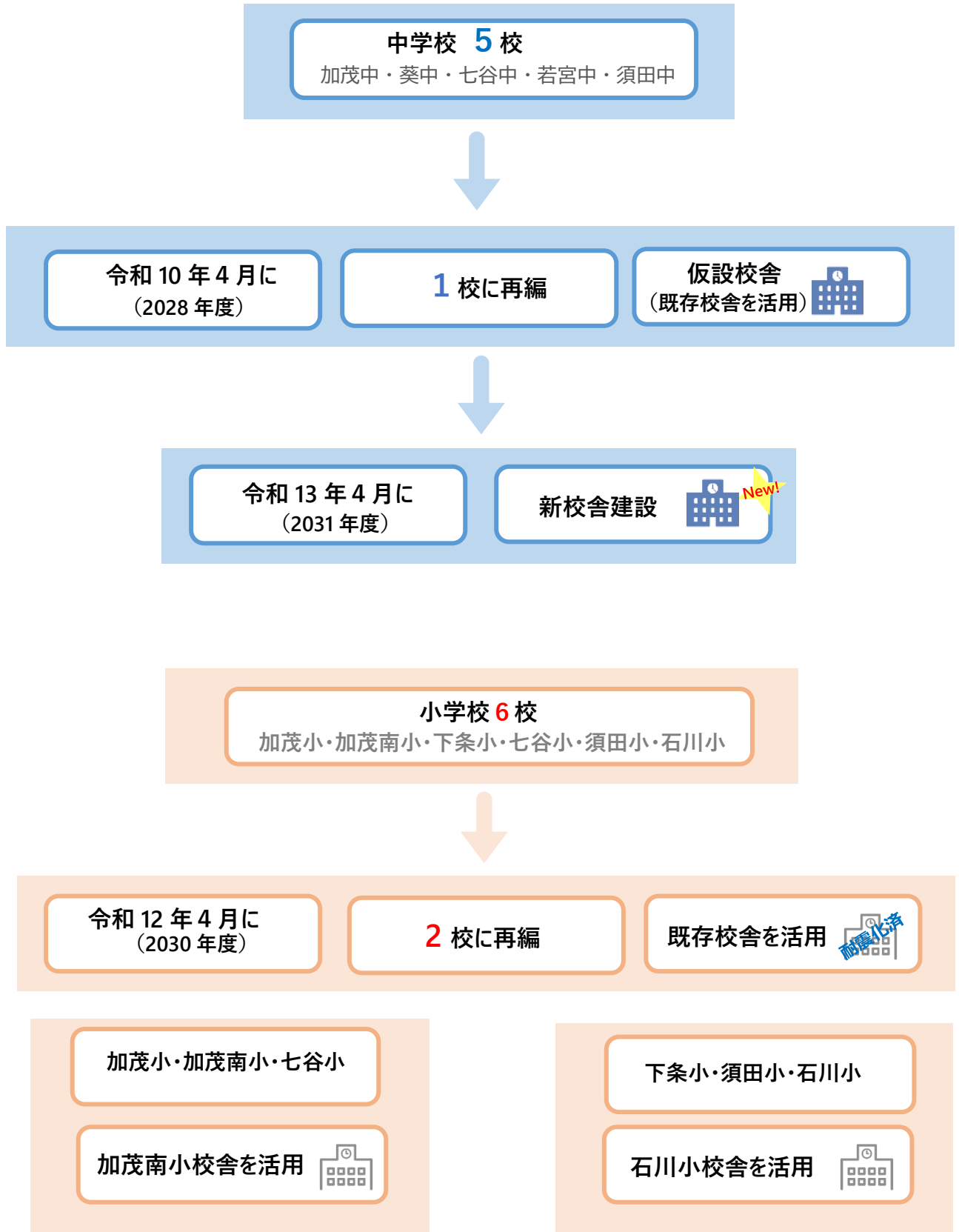
【シミュレーション1】中学校新校舎建設に合わせて再編する場合

統合時期の生徒数を考慮した環境で適正規模化を進められます。一方、校舎建設を伴うため、比較的再編に時間がかかります。



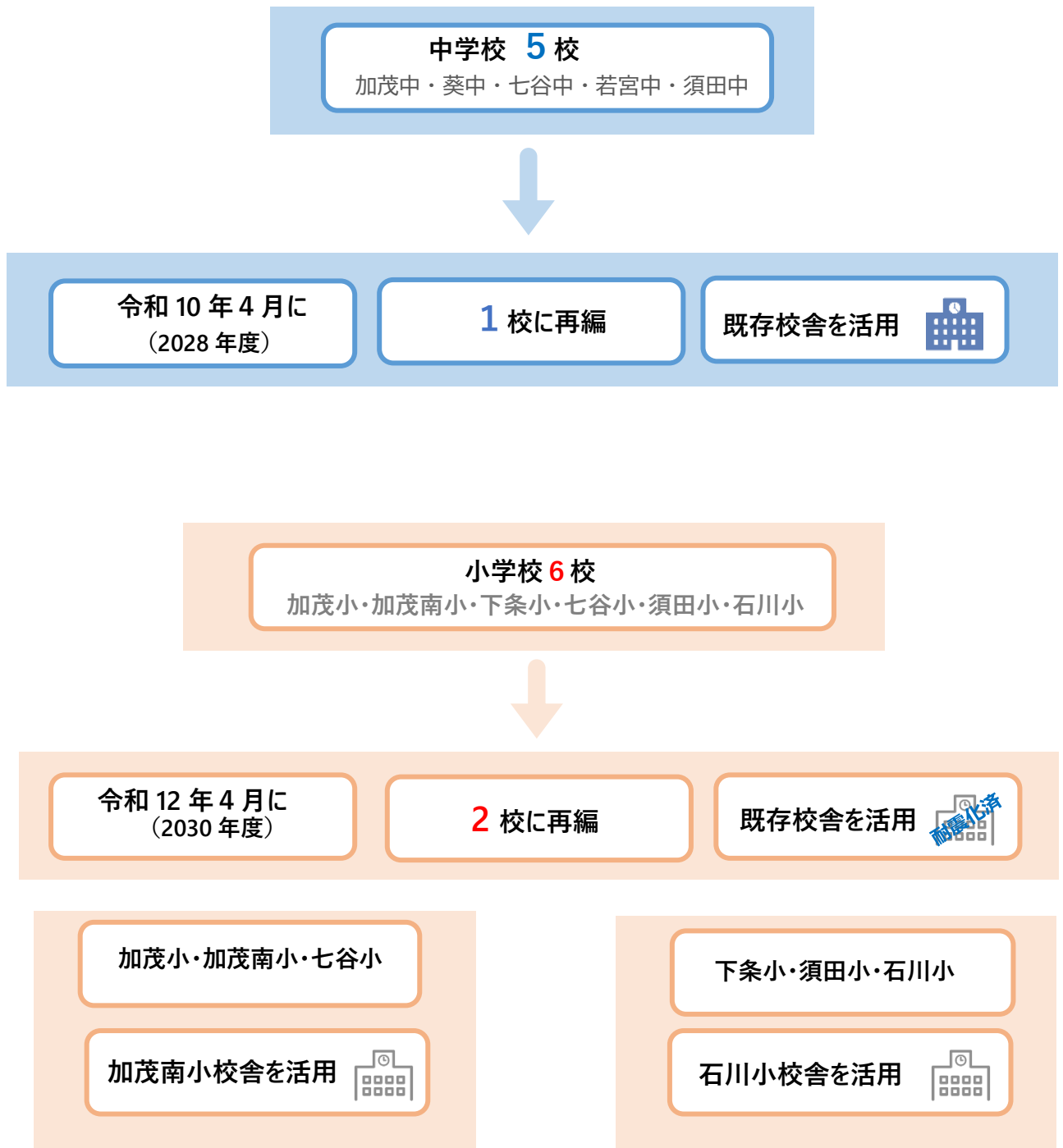
【シミュレーション2】中学校の再編を先行し、その後に新校舎建設を進める場合

可能な限り早い学校規模適正化を進められます。一方、中学校新校舎の完成まで、既存校舎を仮設校舎として利用する必要があります。



【シミュレーション3】小学校、中学校共に既存校舎を活用し再編を進める場合

可能な限り早い学校規模適正化を進められます。既存校舎を増築して利用する必要があります。また、2040年～2050年頃に小学校・中学校の校舎を同時期に新築する必要があります。



【参考】中学校生徒・小学校児童数の推移（見込み）

令和5（2023）年度 中学校生徒数

学校名		1年	2年	3年	計
加茂中	生徒数	57	48	48	153
	学級数	2	2	2	6
葵中	生徒数	72	76	64	212
	学級数	2	2	2	6
七谷中	生徒数	6	6	12	24
	学級数	1	1	1	3
若宮中	生徒数	32	26	37	95
	学級数	1	1	1	3
須田中	生徒数	7	15	15	37
	学級数	1	1	1	3
計	生徒数	174	171	176	521
	学級数	7	7	7	21



令和10（2028）年度 中学校生徒数（見込）

学校名		1年	2年	3年	計
統合 中学校	生徒数	129	148	168	445
	学級数	4	4	5	13



令和13（2031）年度 中学校生徒数（見込）

学校名		1年	2年	3年	計
統合 中学校	生徒数	130	132	139	401
	学級数	4	4	4	12



令和16（2034）年度 中学校生徒数（見込）

学校名		1年	2年	3年	計
統合 中学校	生徒数	97	97	120	314
	学級数	3	3	3	9

資料：加茂市教育委員会(R5.12作成)

令和5（2023）年度 小学校児童数

学校名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
加茂小	生徒数	32	33	32	35	42	34	208
	学級数	1	2	1	1	2	1	8
加茂南小	生徒数	29	20	23	24	35	39	170
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
下条小	生徒数	29	24	25	38	37	28	181
	学級数	1	1	1	2	1	1	7
七谷小	生徒数	3	3	13	9	4	13	45
	学級数	1	1	1	1	1	1	4
須田小	生徒数	12	10	10	13	16	14	75
	学級数	1	1	1	1	1	1	6
石川小	生徒数	32	36	41	47	49	56	261
	学級数	1	2	2	2	2	2	11
計	生徒数	137	126	144	166	183	184	940
	学級数	6	7	7	8	7	7	42



令和12（2030）年度 小学校児童数（見込）

学校名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
加茂第一 小学校	生徒数	32	32	43	42	45	51	245
	学級数	1	1	2	2	2	2	10
加茂小 加茂南小 七谷小	生徒数							
	学級数							
加茂第二 小学校	生徒数	62	62	54	55	75	79	387
	学級数	2	2	2	2	3	3	14
須田小 石川小 下条小	生徒数							
	学級数							
計	生徒数	94	94	97	97	120	130	632
	学級数	3	3	4	4	5	5	24

※2校に再編



令和15（2033）年度 小学校児童数（見込）

学校名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
加茂第一 小学校	生徒数	32	32	32	32	32	43	203
	学級数	1	1	1	1	1	2	7
加茂第二 小学校	生徒数	62	62	62	62	62	54	364
	学級数	2	2	2	2	2	2	12
計	生徒数	94	94	94	94	94	97	567
	学級数	3	3	3	3	3	4	19

資料：加茂市教育委員会(R5.12作成)

資料1 加茂市立小中学校の通学区域と位置

加茂市立小・中学校の名称、位置及び学区に関する規則（昭和48年2月21日教育委員会告示第5号）

「加茂市立小・中学校管理運営に関する規則」第3条及び第4条の規定により、加茂市立小・中学校の名称、位置及び学区を別表のとおり定める。

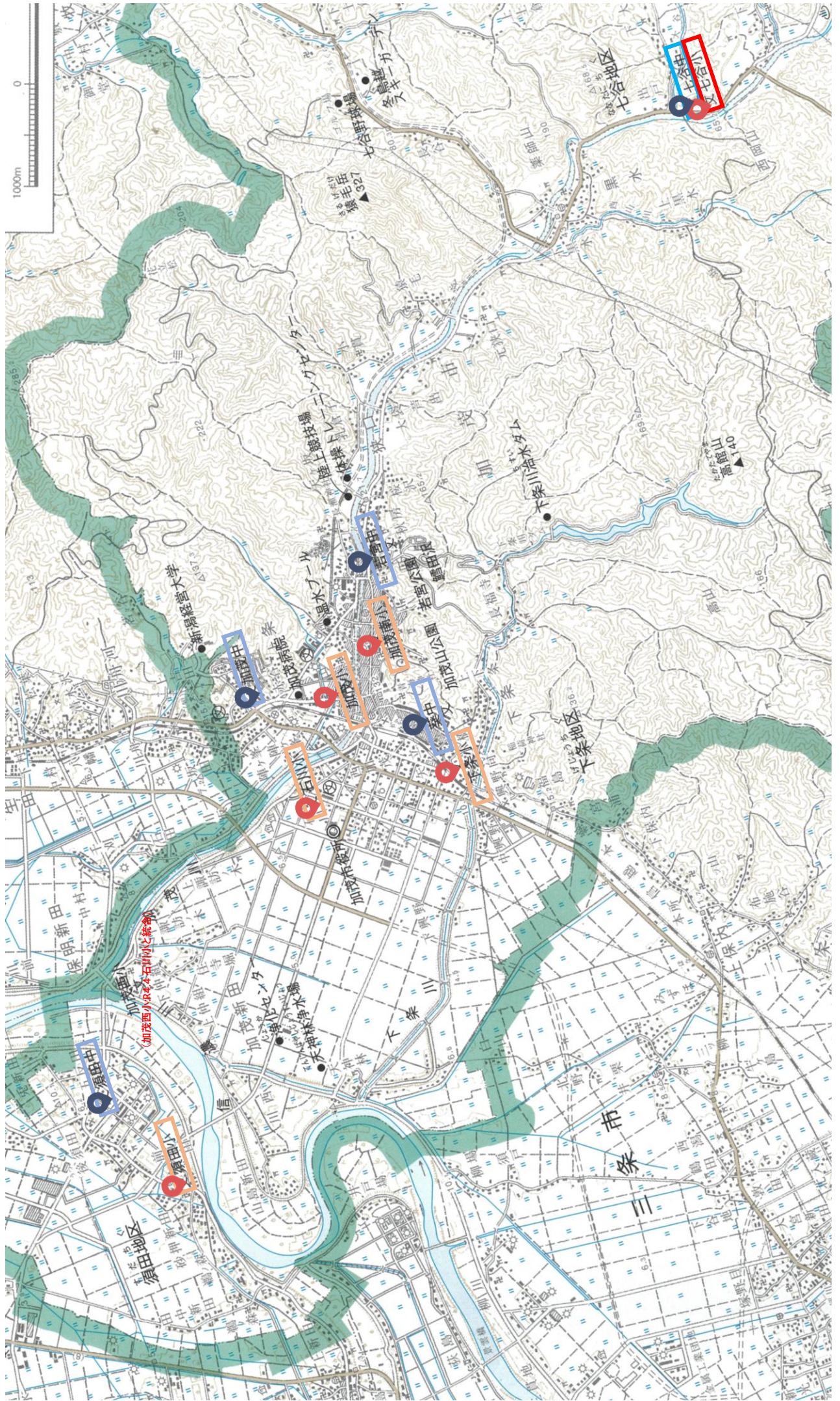
別表1（小学校）

名 称	位 置	通学区域
加茂小学校	加茂市青海町1丁目1番5号	仲町、本町、穀町、駅前、松坂町、岡ノ町、矢立、神明町2丁目、青海町1丁目、青海町2丁目、千刈、赤谷、学校町、陣ヶ峰、都ヶ丘、希望ヶ丘
加茂南小学校	加茂市五番町7番1号	第1区、第2区、上3区、桜沢、秋房、若宮町、新町1丁目、新町2丁目、五番町、上町、八幡、上条、皆川、神明町1丁目
下条小学校	加茂市中村1番1号	中村、中興野、下興野、福島、下興屋向、上興屋向、小橋、早田、上下条、長福寺、天神林、柳町、芝野、横江
七谷小学校	加茂市大字下高柳35番地	黒水東、黒水北、黒水西、黒水中、黒水南、上黒水、長谷、下土倉、上土倉、上大谷、中大谷、下大谷、下高柳、上高柳、小乙、岩野、西山
須田小学校	加茂市大字前須田380番地1	田中新田、上鶴森、中鶴森、下鶴森、砂押新田、前須田、後須田第1、後須田第2、後須田第3、後須田第4、北潟、五反田
石川小学校	加茂市石川2丁目2番7号	幸町、石川、寿町、旭町、栄町、新栄町、大郷町、高須町、番田、第23区、第24区、第25区

別表2（中学校）

名 称	位 置	通学区域
加茂中学校	加茂市学校町1番1号	仲町、本町、穀町、駅前、神明町2丁目、青海町1丁目、青海町2丁目、千刈、赤谷、学校町、陣ヶ峰、都ヶ丘、希望ヶ丘、第23区、第24区、第25区、番田、幸町、石川
葵中学校	加茂市矢立15番1号	松坂町、岡ノ町、矢立、中村、中興野、下興野、福島、下興屋向、上興屋向、小橋、早田、上下条、長福寺、天神林、柳町、芝野、横江、大郷町、高須町、寿町、旭町、栄町、新栄町
七谷中学校	加茂市大字下高柳25番地	七谷小学校区全域
若宮中学校	加茂市若宮町1丁目21番12号	加茂南小学校区全域
須田中学校	加茂市大字後須田809番地	須田小学校区全域

加茂市立小・中学校配置図 (令和5年4月1日現在)



資料2 加茂市立小中学校の適正規模等に関する市民アンケート調査結果

1 目的

- 市内小中学校に就学している児童生徒及び小学校未就学児の保護者様、地域の方々、教職員を対象に、加茂市立小中学校適正規模等検討委員会による答申書の内容をお知らせするとともに、教育環境や学習環境の充実を目的とした加茂市立小中学校適正化方針（仮称）の策定に保護者の意見を反映させるため。

2 調査対象者及び調査方法

- 保護者・教職員向け
 - ・ 原則、インターネット（Google フォーム）で回答
 - ・ 小中学校に協力を依頼し、アンケート依頼文書（二次元コード付）を配布
 - ・ 未就学児保護者にアンケート依頼文書（二次元コード付）を郵送
- その他市民向け
 - ・ インターネット（Google フォーム）で回答（加茂市ホームページ、加茂市SNS、広報かも（令和5年1月15日号）にて案内）
 - ・ アンケート用紙を市役所1階ロビー、公民館、図書館、各コミュニティセンターに設置

3 実施期間

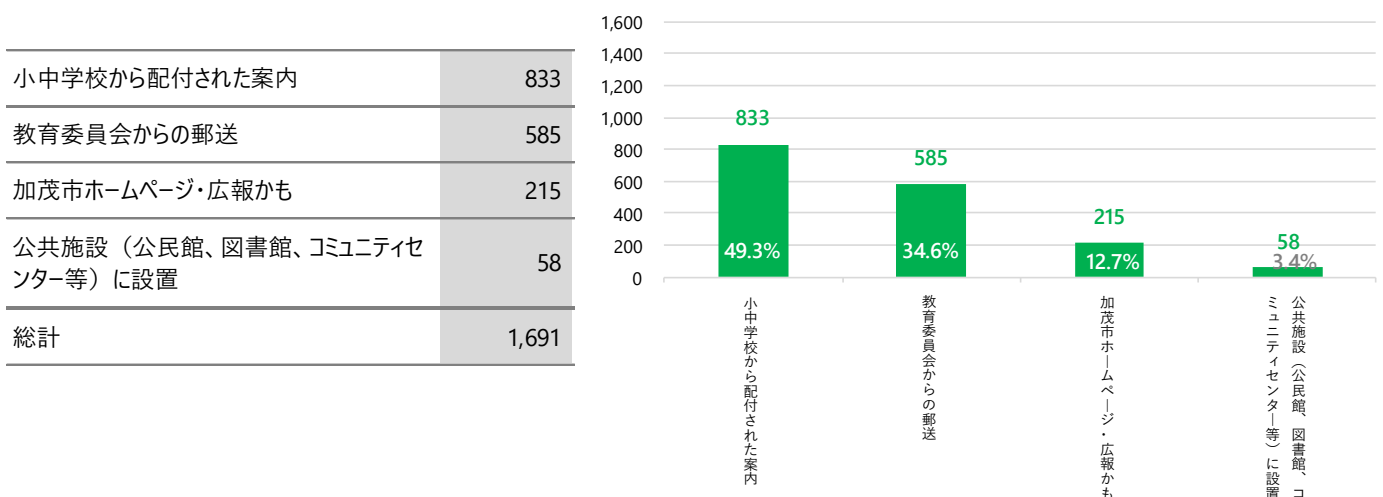
- 案内文書配布及び周知 令和5年1月中旬
- 回答期間 令和5年1月16日（月）から2月1日（水）まで

4 回答有効件数

- 1,691 件

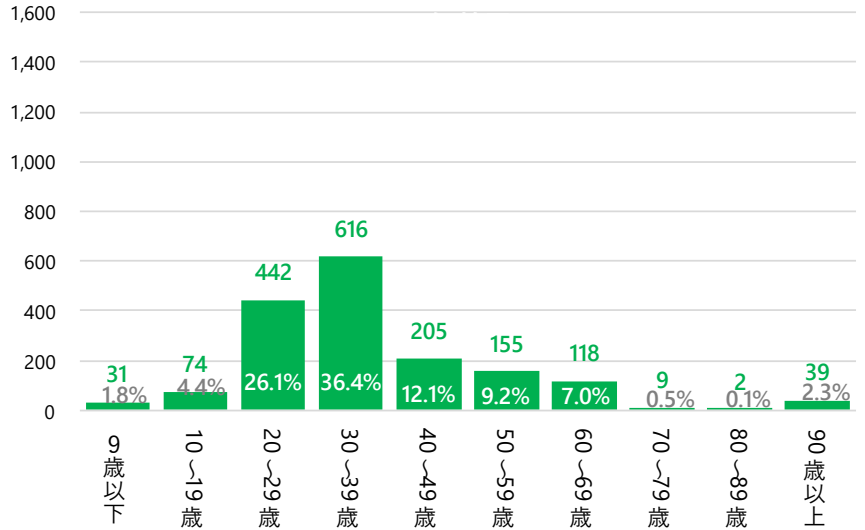
5 調査結果

Q1 あなたはどのようにしてこのアンケート用紙を入手しましたか？（いずれか1つ）



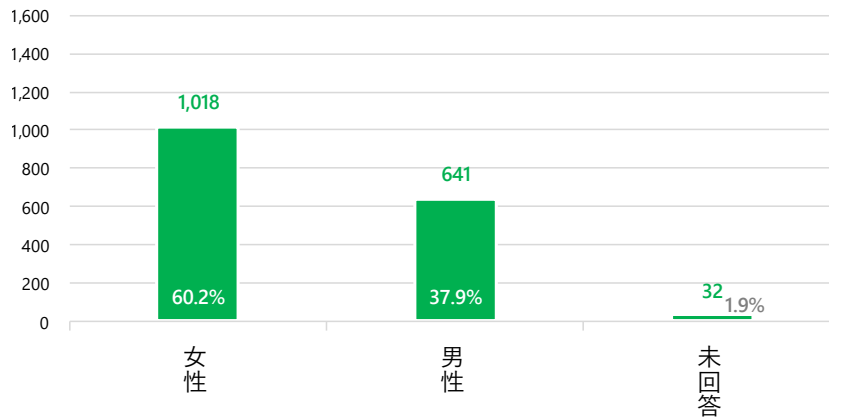
Q2 あなたの年齢層を 選択してください。(いずれか1つ)

9歳以下	31
10～19歳	74
20～29歳	442
30～39歳	616
40～49歳	205
50～59歳	155
60～69歳	118
70～79歳	9
80～89歳	2
90歳以上	39
総計	1,691



Q3 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つ)

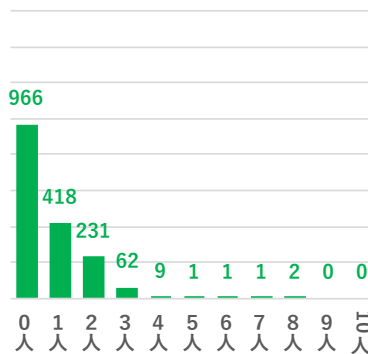
女性	1,018
男性	641
未回答	32
総計	1,691



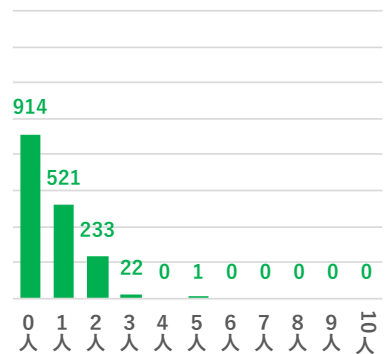
Q4 あなたの世帯構成（未成年者：満18歳未満）について記載してください。（未成年者がいない場合は記載不要）

	未就学児	小学生	中学生	高校生以上 未成年者
0人	966	914	1,275	1,449
1人	418	521	363	187
2人	231	233	48	28
3人	62	22	1	7
4人	9	0	0	9
5人	1	1	0	1
6人	1	0	0	3
7人	1	0	2	1
8人	2	0	0	1
9人	0	0	1	1
10人	0	0	1	4
総計	1,691	1,691	1,691	1,691

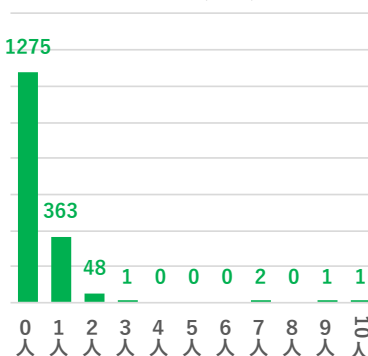
未就学児(人数)



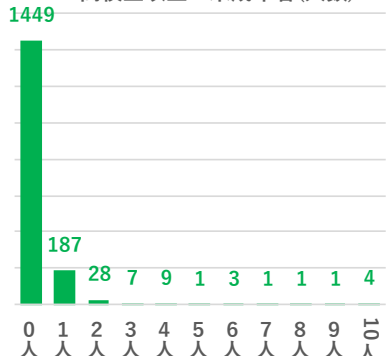
小学生(人数)



中学生(人数)

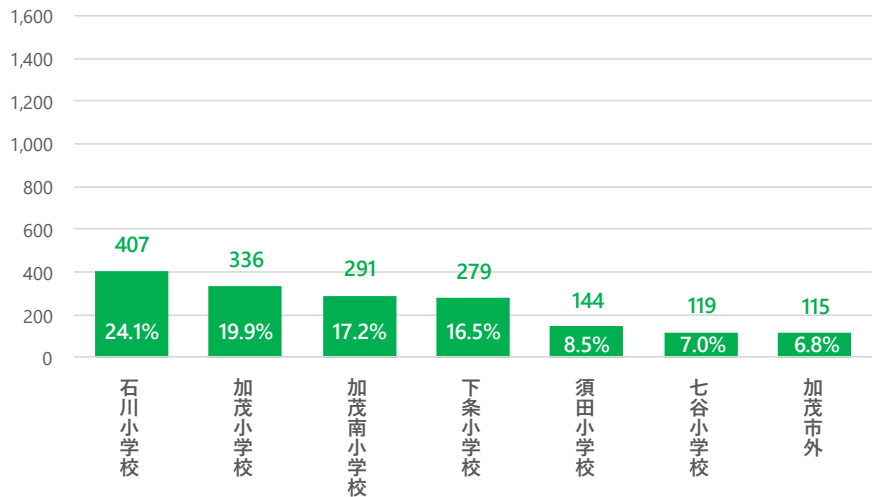


高校生以上の未成年者(人数)



Q5 あなたがお住まいの小中学校区を選択してください。（いずれか1つ）

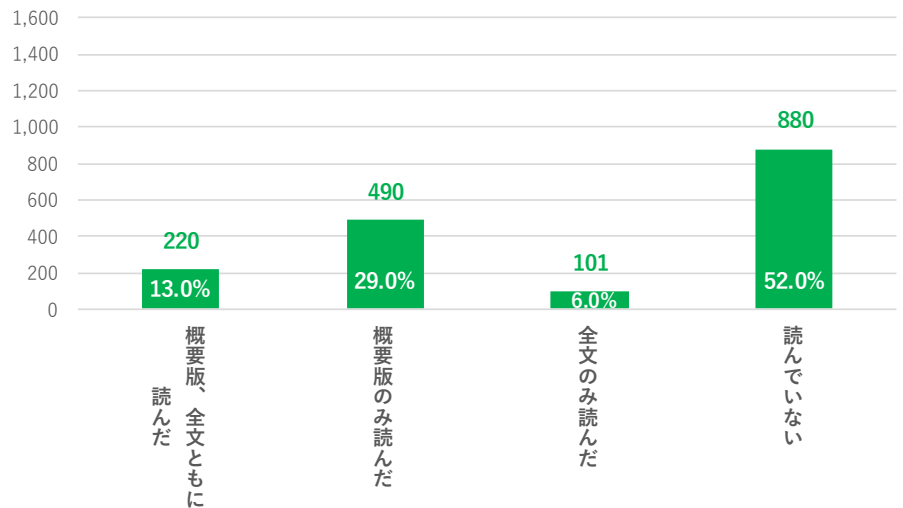
石川小学校	407
加茂小学校	336
加茂南小学校	291
下条小学校	279
須田小学校	144
七谷小学校	119
加茂市外	115
総計	1,691



Q6 少子化に伴う児童生徒数の減少及び校舎等の老朽化（未耐震）などが問題視されていることから、加茂市教育委員会は諮問機関である「加茂市立小中学校適正規模等検討委員会」を設置し、小中学校の適正規模等の話し合いを重ね、去る令和5年11月10日に同委員会より答申が提出されました。

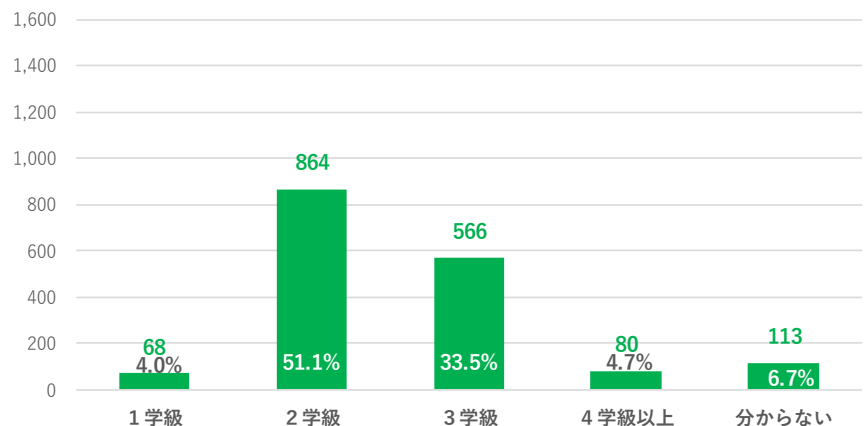
あなたは、この答申をお読みになりましたか？（いずれか1つ）

概要版、全文ともに読んだ	220
概要版のみ読んだ	490
全文のみ読んだ	101
読んでいない	880
総計	1,691



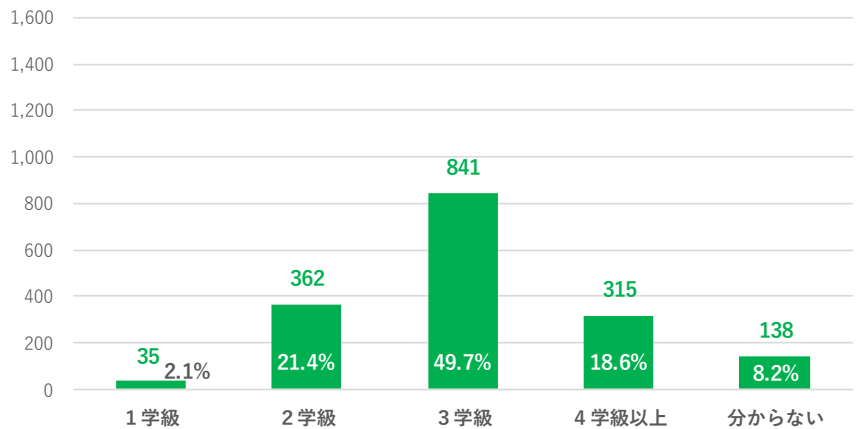
Q7 答申には、望ましい学校規模を小学校当たり12~18学級（各学年2~3学級）としています。小学校で1学年当たりの学級（クラス）数は、どの程度が良いと考えますか？（いずれか1つ）

1学級	68
2学級	864
3学級	566
4学級以上	80
分からない	113
総計	1,691



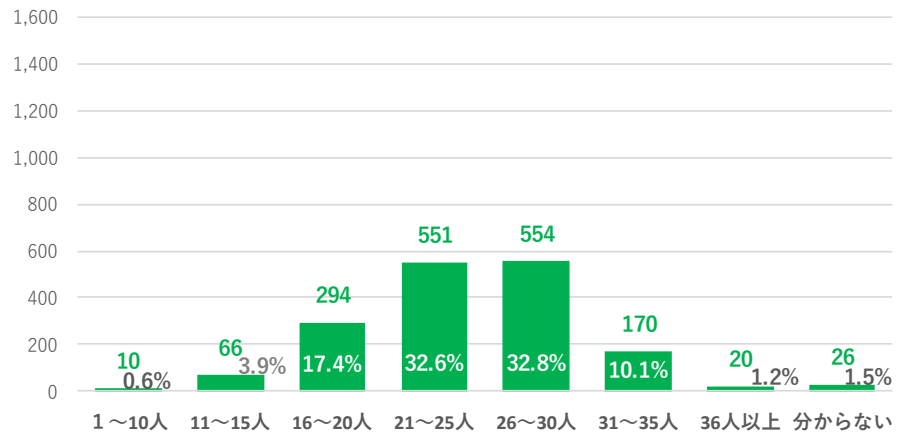
Q8 答申には、望ましい学校規模を中学校当たり9～18学級（各学年3～6学級）としていますが、中学校で1学年当たりの学級（クラス）数は、どの程度が良いと考えますか？（いずれか1つ）

1学級	35
2学級	362
3学級	841
4学級以上	315
分からない	138
総計	1,691



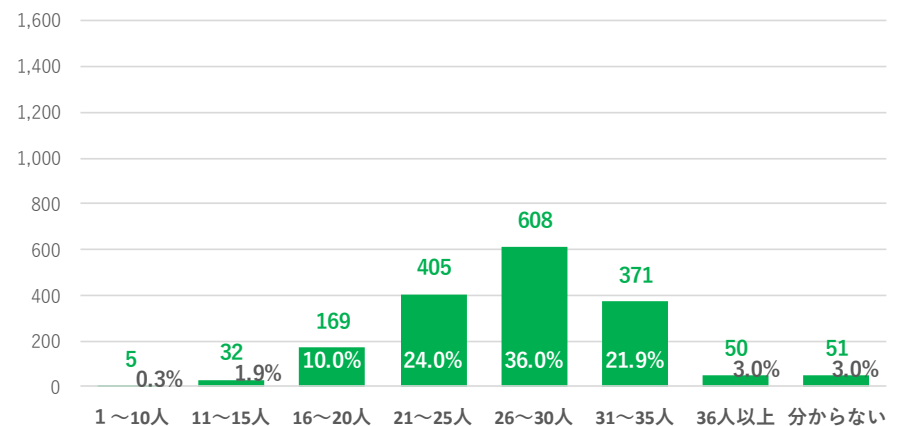
Q9 小学校における1学級の人数についてどの程度が良いと考えますか？（いずれか1つ）

1～10人	10
11～15人	66
16～20人	294
21～25人	551
26～30人	554
31～35人	170
36人以上	20
分からない	26
総計	1,691



Q10 中学校における1学級の人数についてどの程度が良いと考えますか？（いずれか1つ）

1～10人	5
11～15人	32
16～20人	169
21～25人	405
26～30人	608
31～35人	371
36人以上	50
分からない	51
総計	1,691

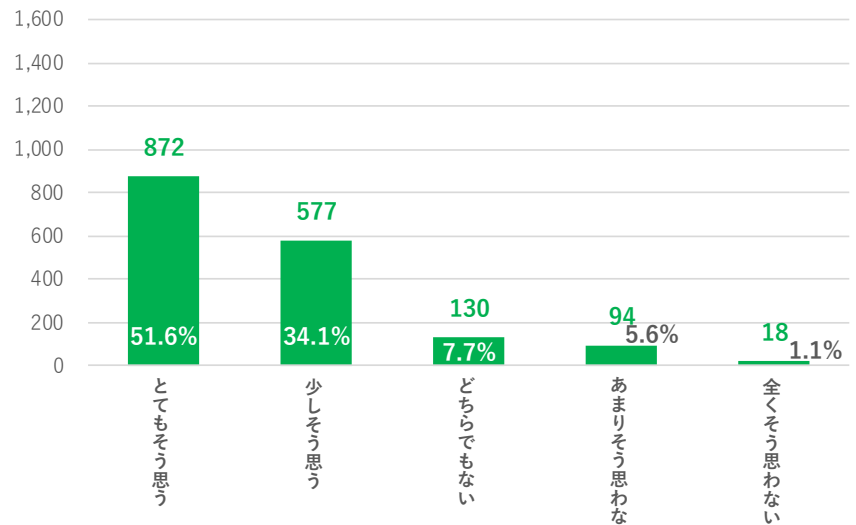


Q11 「加茂市立小中学校における適正規模・適正配置の在り方 答申」には、学校規模によるメリット・デメリットが挙げられています。小学校に関する学校規模や統合によるメリット・デメリットについてあなたのお考えをお聞かせください。（それぞれ1つ）

【小学校を統合する統合するメリット】

Q11-1 クラス替えが可能となり、より大きな集団の中で多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が増える。

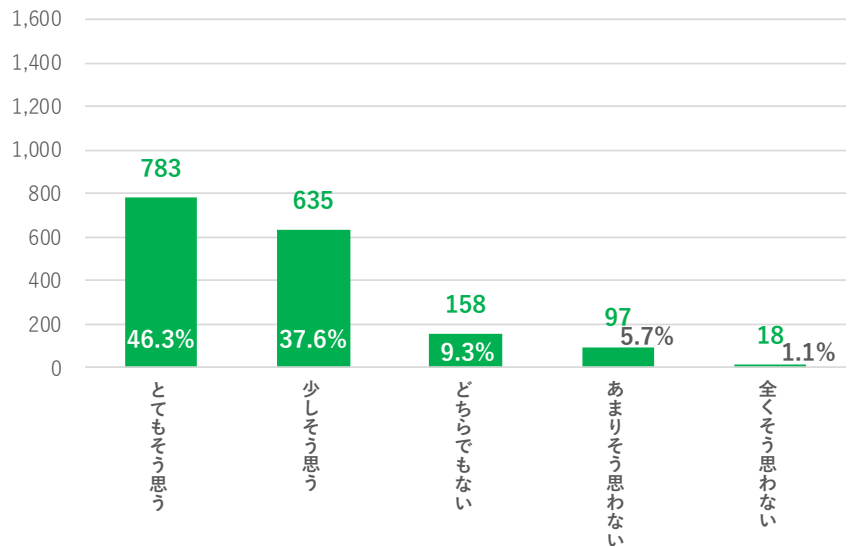
とてもそう思う	872
少しそう思う	577
どちらでもない	130
あまりそう思わない	94
全くそう思わない	18
総計	1,691



【小学校を統合するメリット】

Q11-2 コミュニケーション能力や環境の変化に柔軟に対応する能力が向上しやすい。

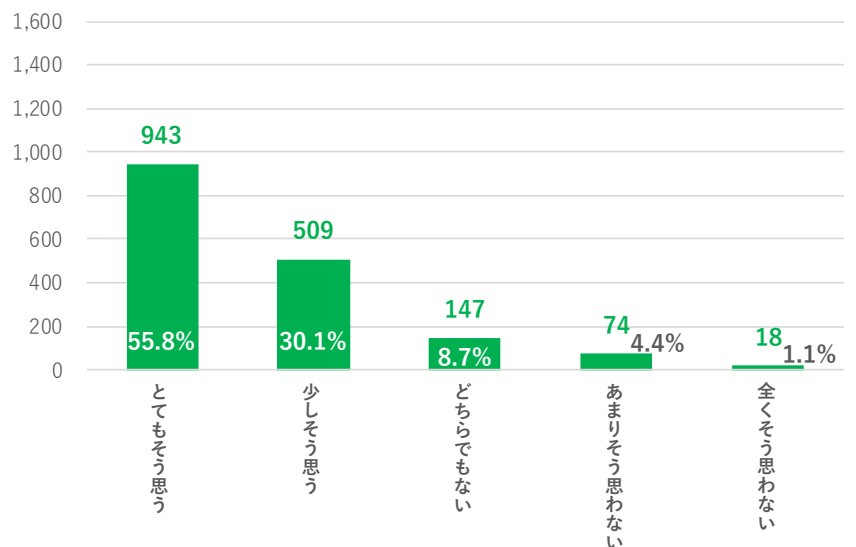
とてもそう思う	783
少しそう思う	635
どちらでもない	158
あまりそう思わない	97
全くそう思わない	18
総計	1,691



【小学校を統合するメリット】

Q11-3 運動会や音楽発表会などが充実し、活性化する。(例：クラス対抗戦が可能となる等)

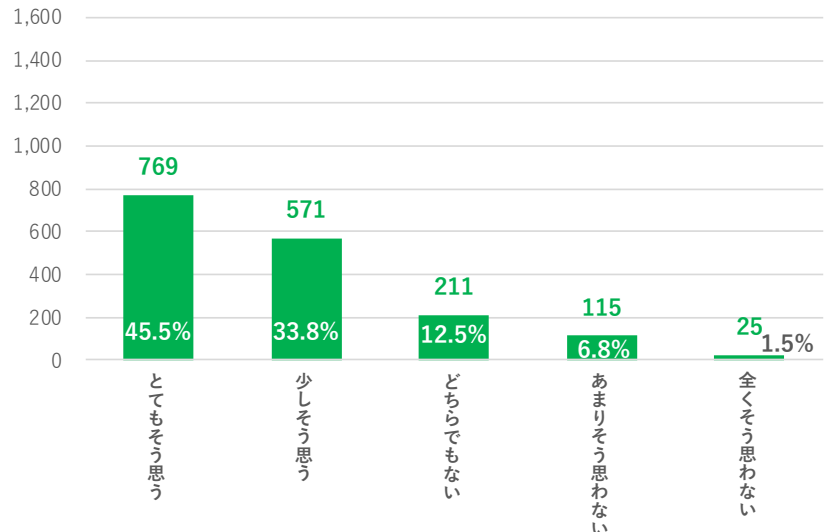
とてもそう思う	943
少しそう思う	509
どちらでもない	147
あまりそう思わない	74
全くそう思わない	18
総計	1,691



【小学校を統合するメリット】

Q11-4 学級数が増えると教員も増えるので、バランスがとれた教員配置及び指導体制を構築しやすい。

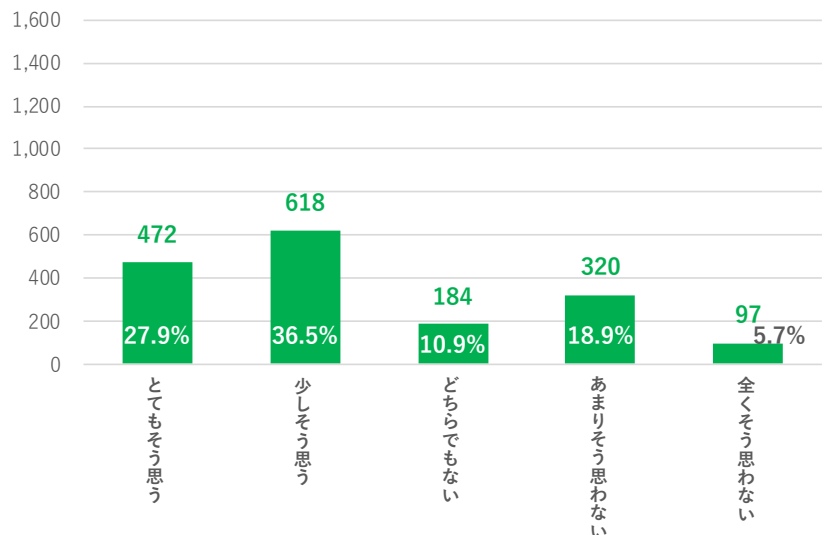
とてもそう思う	769
少しそう思う	571
どちらでもない	211
あまりそう思わない	115
全くそう思わない	25
総計	1,691



【小学校を統合するデメリット】

Q11-5 学校までの距離が遠くなる場合があるので、登下校時の安全確保が難しくなる。

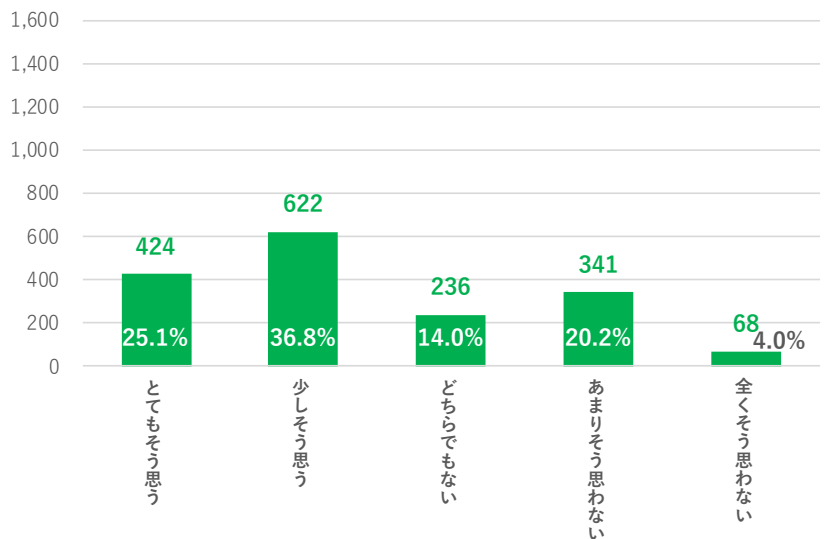
とてもそう思う	472
少しそう思う	618
どちらでもない	184
あまりそう思わない	320
全くそう思わない	97
総計	1,691



【小学校を統合するデメリット】

Q11-6 児童数が増えるので、子ども一人一人に目が届きにくくなる。

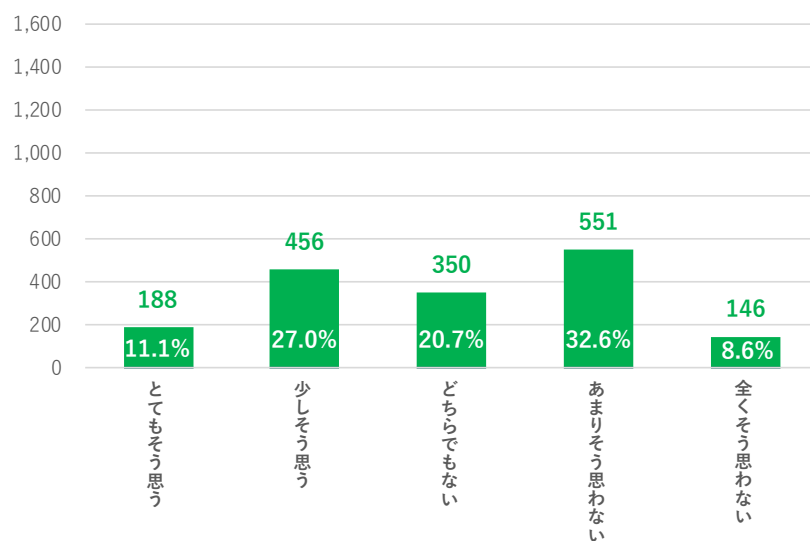
とてもそう思う	424
少しそう思う	622
どちらでもない	236
あまりそう思わない	341
全くそう思わない	68
総計	1,691



【小学校を統合するデメリット】

Q11-7 児童数が増えるので、学校行事等において一人一人の役割や活動機会が減少する。(例：運動会で出場できる機会が少なくなる、学年代表として選出される機会が少なくなる等)

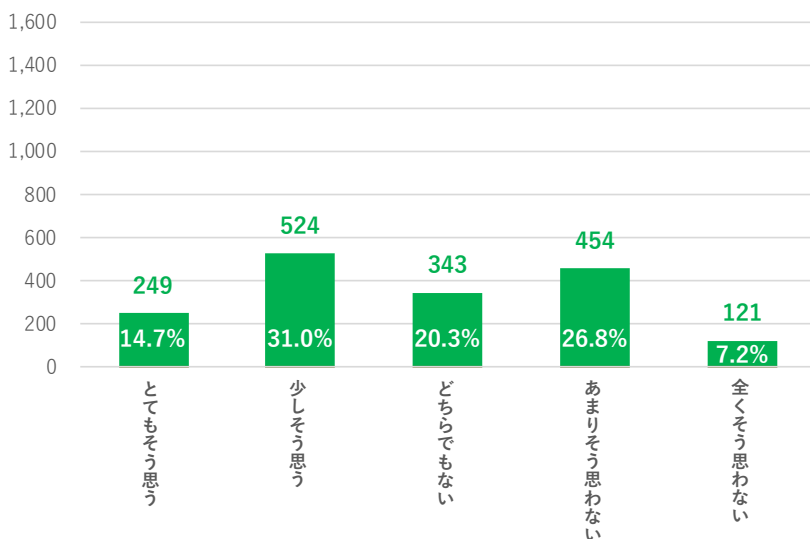
とてもそう思う	188
少しそう思う	456
どちらでもない	350
あまりそう思わない	551
全くそう思わない	146
総計	1,691



【小学校を統合するデメリット】

Q11-8 学区が広くなり保護者も増えるので、保護者や地域社会との連携が難しくなる。

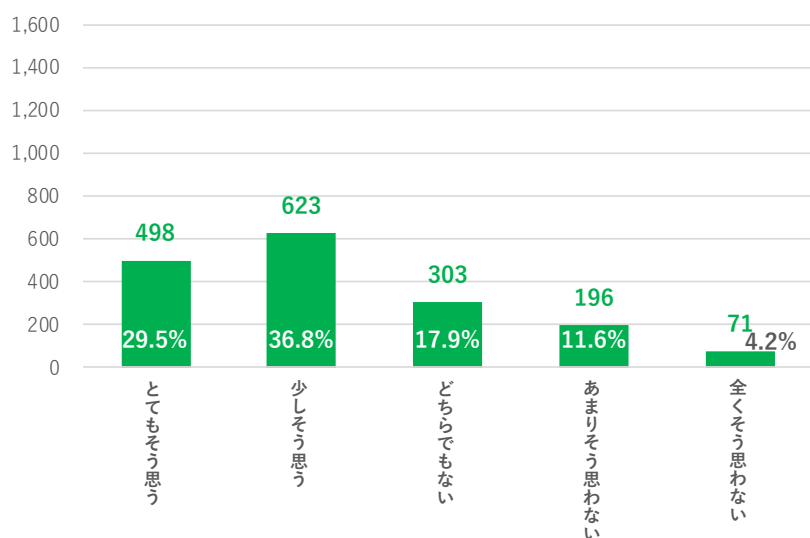
とてもそう思う	249
少しそう思う	524
どちらでもない	343
あまりそう思わない	454
全くそう思わない	121
総計	1,691



【小学校 小規模校のメリット】

Q11-9 児童同士の間関係が深まりやすい。

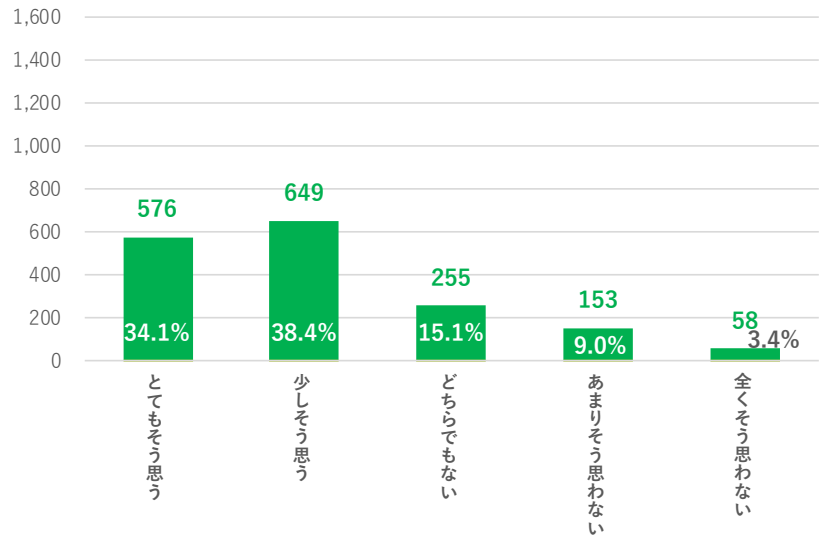
とてもそう思う	498
少しそう思う	623
どちらでもない	303
あまりそう思わない	196
全くそう思わない	71
総計	1,691



【小学校 小規模校のメリット】

Q11-10 異学年間の縦の交流が生まれやすい。

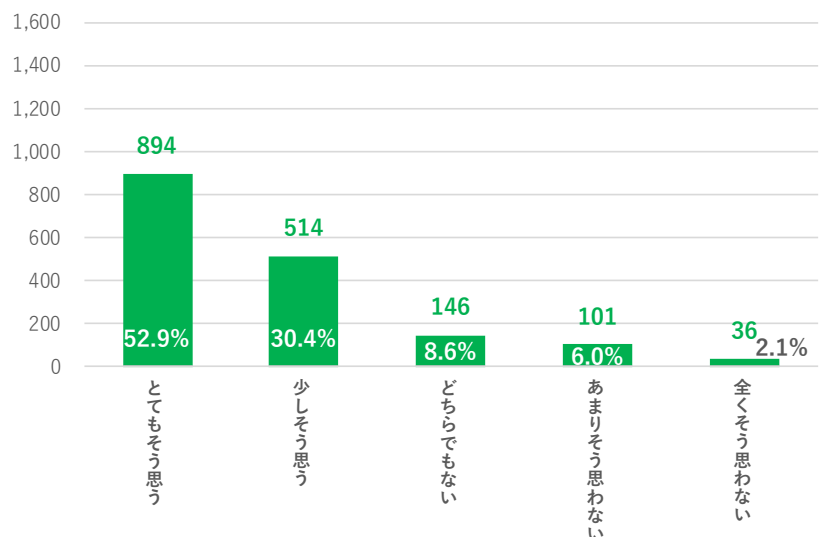
とてもそう思う	576
少しそう思う	649
どちらでもない	255
あまりそう思わない	153
全くそう思わない	58
総計	1,691



【小学校 小規模校のデメリット】

Q11-11 クラス替えができないので、人間関係が固定化し、修復が難しい。

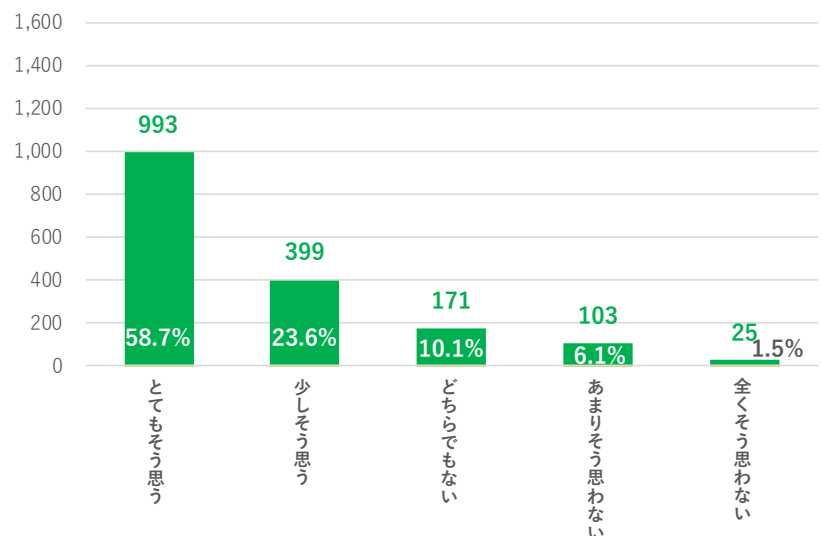
とてもそう思う	894
少しそう思う	514
どちらでもない	146
あまりそう思わない	101
全くそう思わない	36
総計	1,691



【小学校 小規模校のデメリット】

Q11-12 PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなる。

とてもそう思う	993
少しそう思う	399
どちらでもない	171
あまりそう思わない	103
全くそう思わない	25
総計	1,691

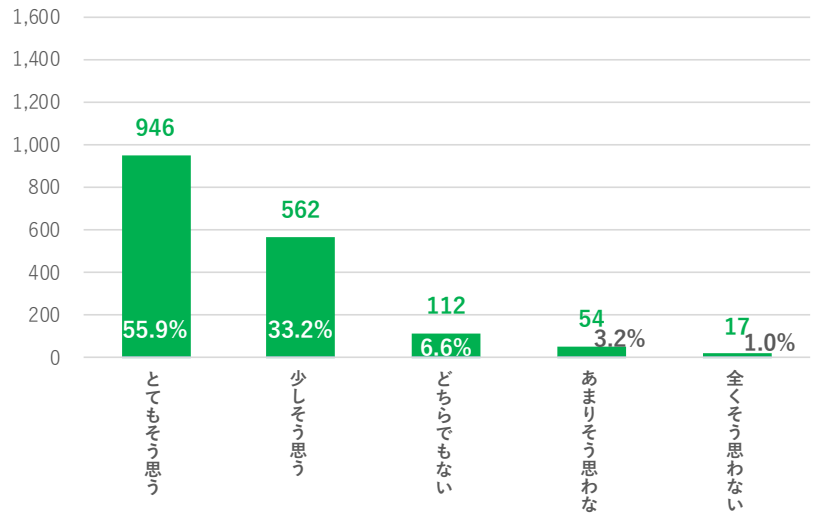


Q12 中学校に関する学校規模や統合によるメリット・デメリットについてあなたのお考えをお聞かせください。（それぞれ1つ）

【中学校 統合するメリット】

Q12-1 クラス替えが可能となり、より大きな集団の中で多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が増える。

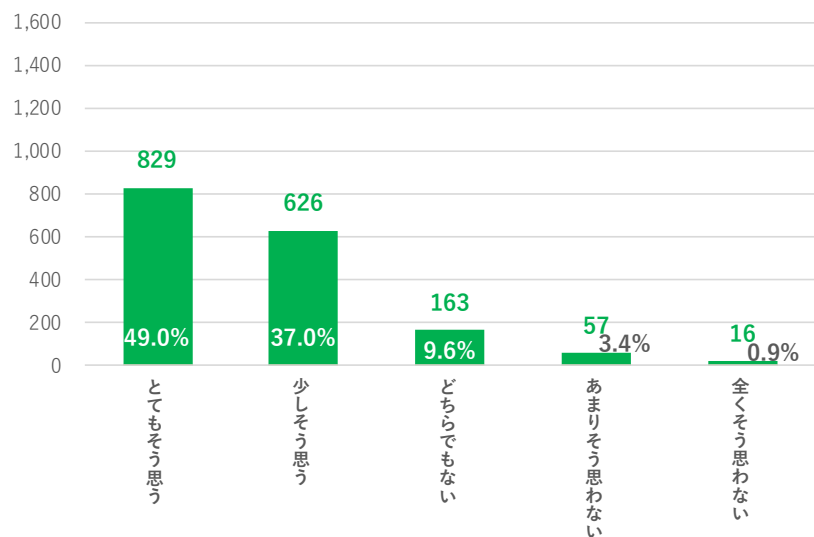
とてもそう思う	946
少しそう思う	562
どちらでもない	112
あまりそう思わない	54
全くそう思わない	17
総計	1,691



【中学校 統合するメリット】

Q12-2 コミュニケーション能力や環境の変化に柔軟に対応する能力が向上しやすい。

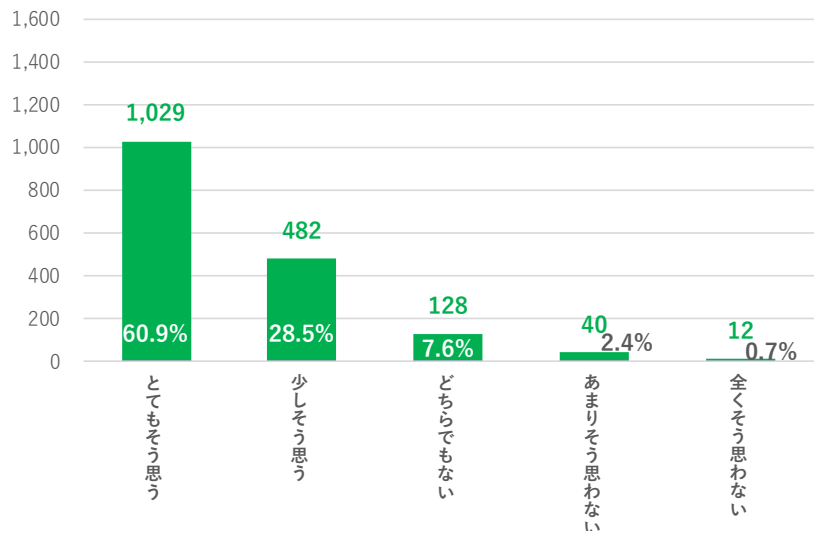
とてもそう思う	829
少しそう思う	626
どちらでもない	163
あまりそう思わない	57
全くそう思わない	16
総計	1,691



【中学校 統合するメリット】

Q12-3 体育祭や合唱コンクールなどが充実し、活性化する。部活動においても選択の幅が広がり、活性化する。(例：クラス対抗戦が可能となる、部活動で団体チームを編成しやすい等)

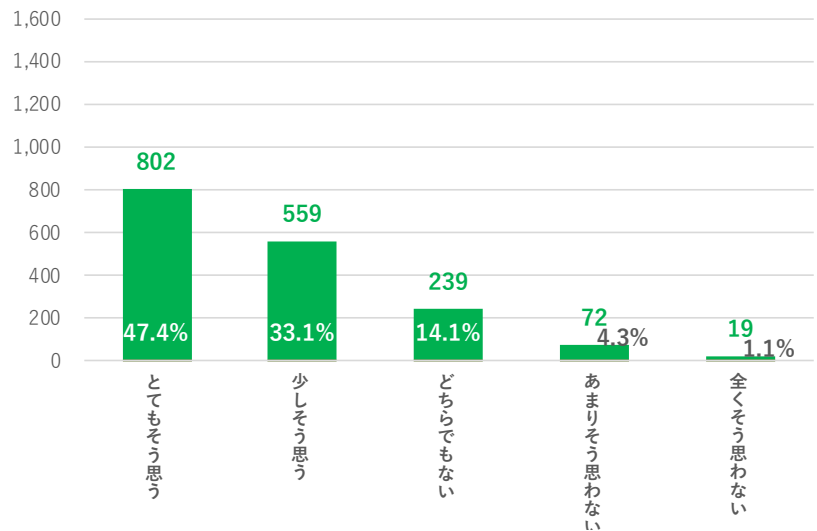
とてもそう思う	1,029
少しそう思う	482
どちらでもない	128
あまりそう思わない	40
全くそう思わない	12
総計	1,691



【中学校 統合するメリット】

Q12-4 学級数が増えると教員も増えるので、全教科に免許所有の教員を確保し、バランスがとれた教員配置及び指導体制を構築しやすい。

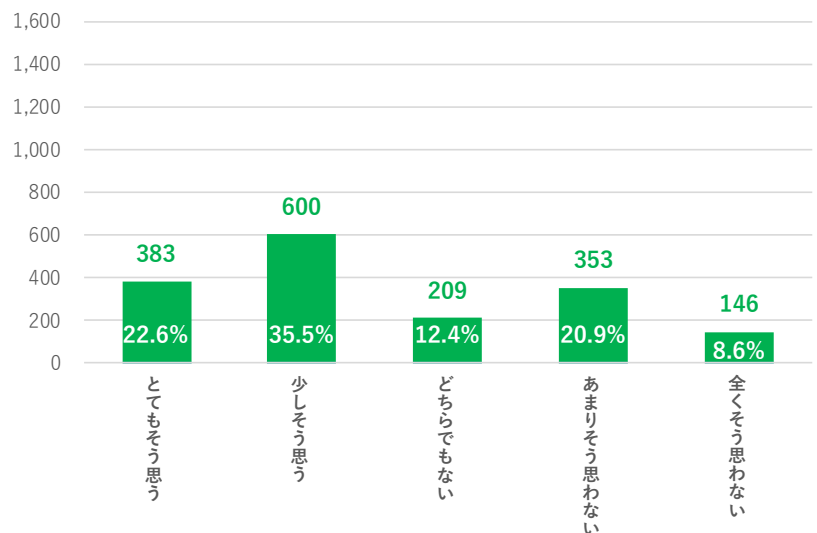
とてもそう思う	802
少しそう思う	559
どちらでもない	239
あまりそう思わない	72
全くそう思わない	19
総計	1,691



【中学校 統合するデメリット】

Q12-5 学校までの距離が遠くなる場合があるので、登下校時の安全確保が難しくなる。

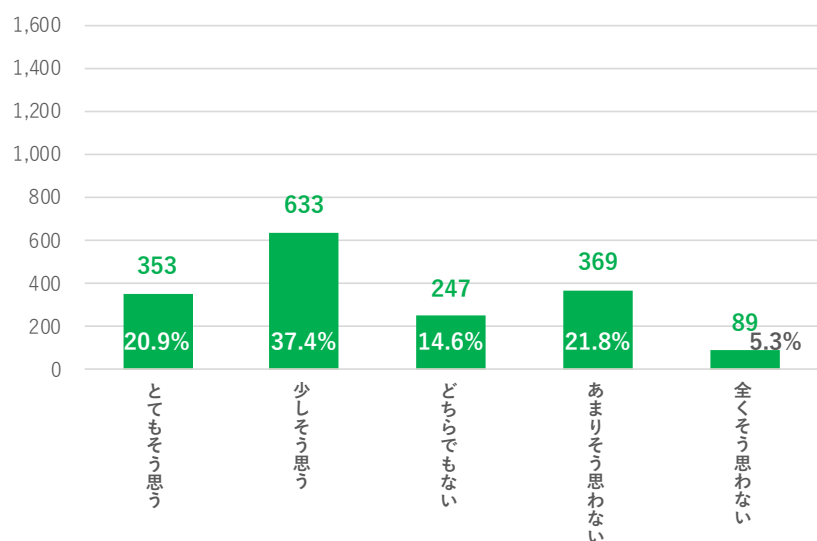
とてもそう思う	383
少しそう思う	600
どちらでもない	209
あまりそう思わない	353
全くそう思わない	146
総計	1,691



【中学校 統合するデメリット】

Q12-6 生徒数が増えるので、子ども一人一人に目が届きにくくなる。

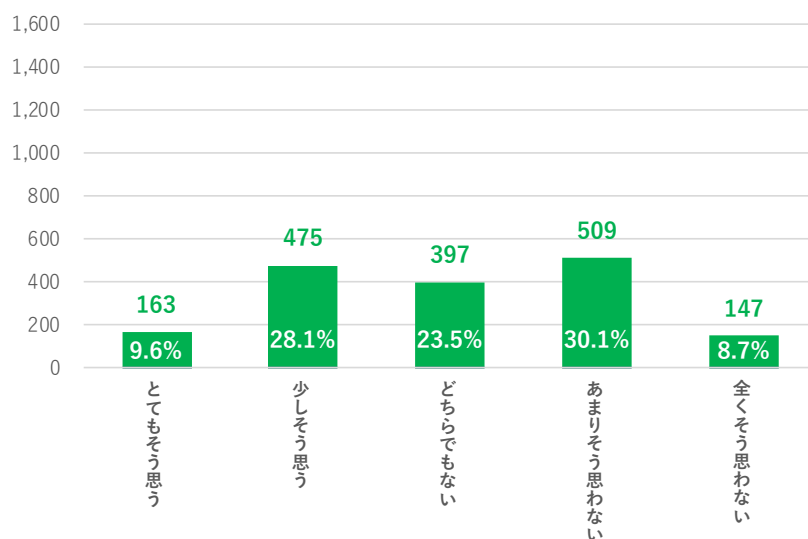
とてもそう思う	353
少しそう思う	633
どちらでもない	247
あまりそう思わない	369
全くそう思わない	89
総計	1,691



【中学校 統合するデメリット】

Q12-7 生徒数が増えるので、学校行事等において一人一人の役割や活動機会が減少する。(例：体育祭で出場できる機会が少なくなる、学年代表として選出される機会が少なくなる等)

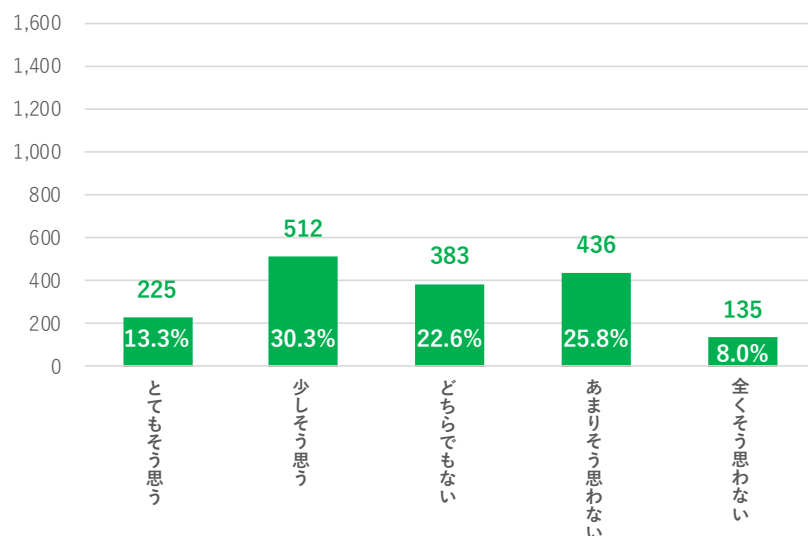
とてもそう思う	163
少しそう思う	475
どちらでもない	397
あまりそう思わない	509
全くそう思わない	147
総計	1,691



【中学校 統合するデメリット】

Q12-8 学区が広くなり保護者も増えるので、保護者や地域社会との連携が難しくなる。

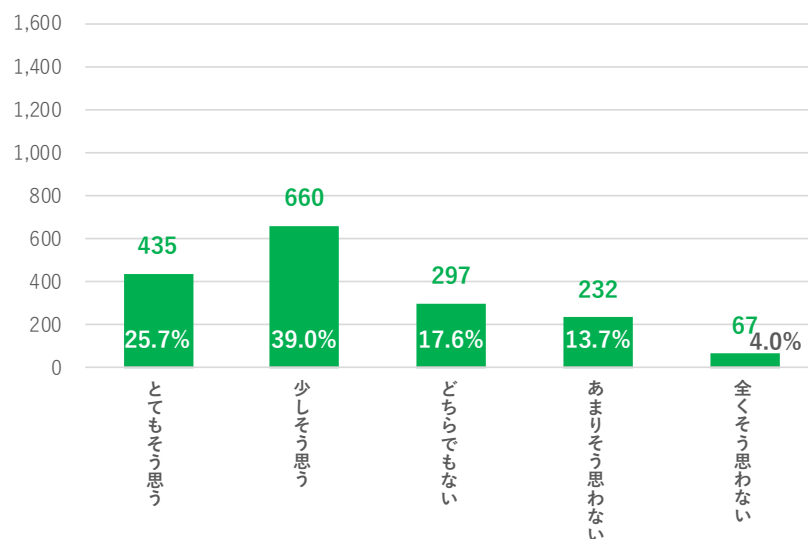
とてもそう思う	225
少しそう思う	512
どちらでもない	383
あまりそう思わない	436
全くそう思わない	135
総計	1,691



【中学校 小規模校のメリット】

Q12-9 生徒同士の間関係が深まりやすい。

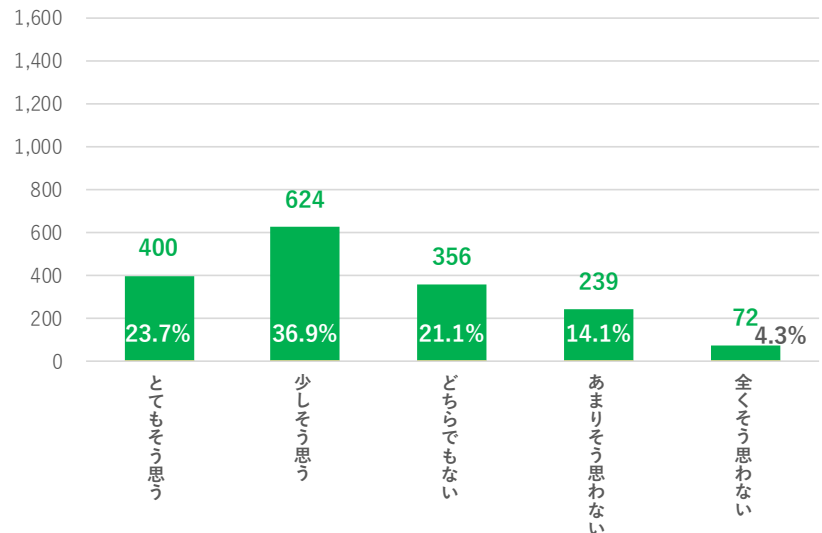
とてもそう思う	435
少しそう思う	660
どちらでもない	297
あまりそう思わない	232
全くそう思わない	67
総計	1,691



【中学校 小規模校のメリット】

Q12-10 異学年間の縦の交流が生まれやすい。

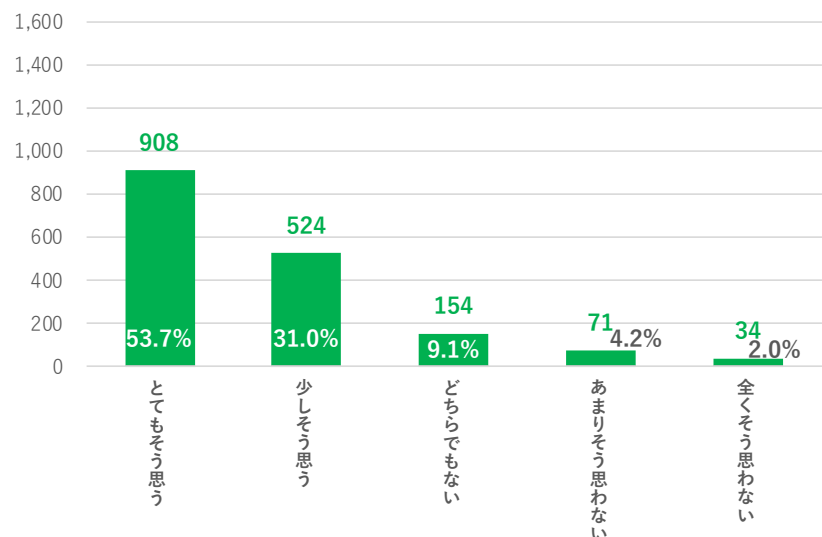
とてもそう思う	400
少しそう思う	624
どちらでもない	356
あまりそう思わない	239
全くそう思わない	72
総計	1,691



【中学校 小規模校のデメリット】

Q12-11 クラス替えができないので、人間関係が固定化し、修復が難しい。

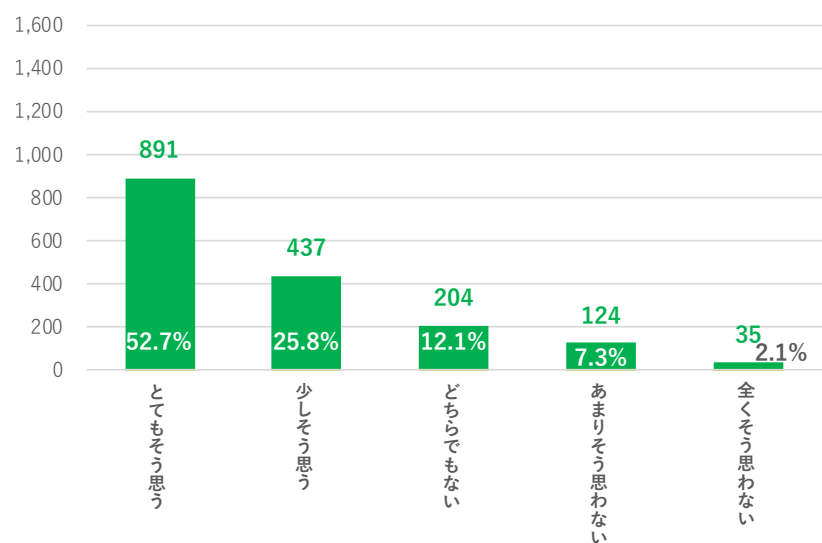
とてもそう思う	908
少しそう思う	524
どちらでもない	154
あまりそう思わない	71
全くそう思わない	34
総計	1,691



【中学校 小規模校のデメリット】

Q12-12 PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなる。

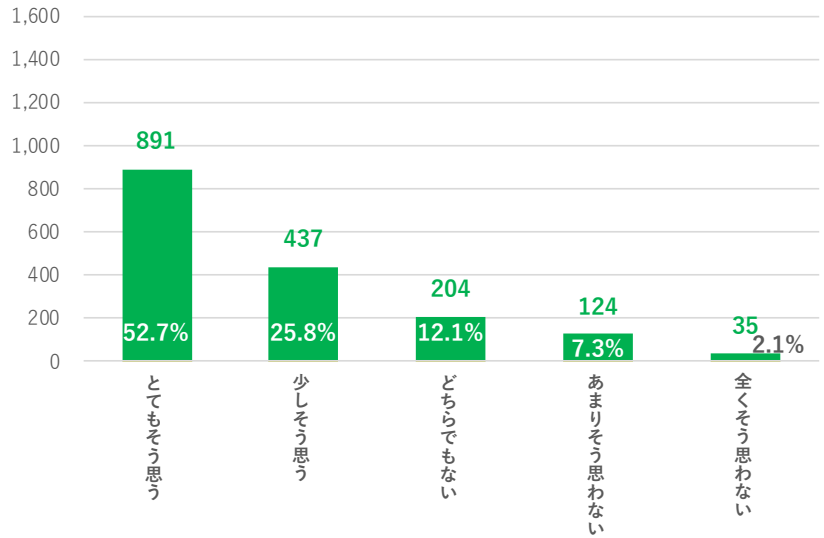
とてもそう思う	891
少しそう思う	437
どちらでもない	204
あまりそう思わない	124
全くそう思わない	35
総計	1,691



【中学校 小規模校のデメリット】

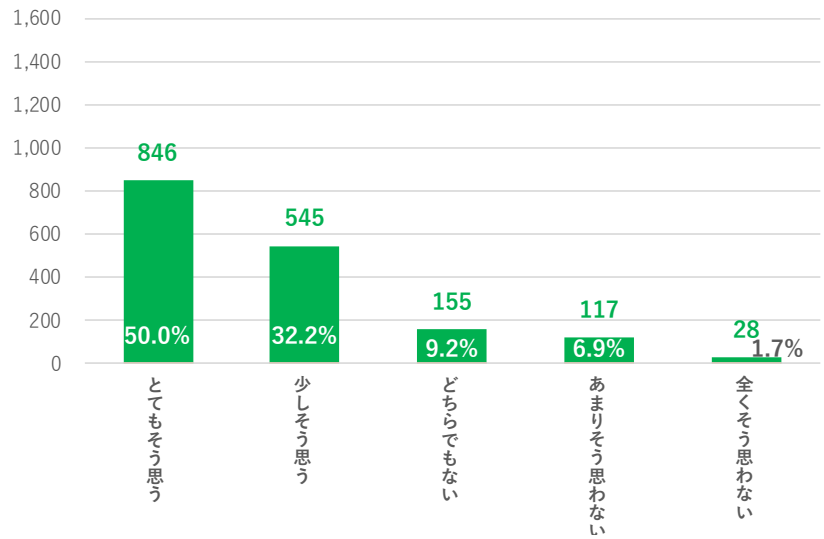
Q12-12 PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなる。

とてもそう思う	891
少しそう思う	437
どちらでもない	204
あまりそう思わない	124
全くそう思わない	35
総計	1,691



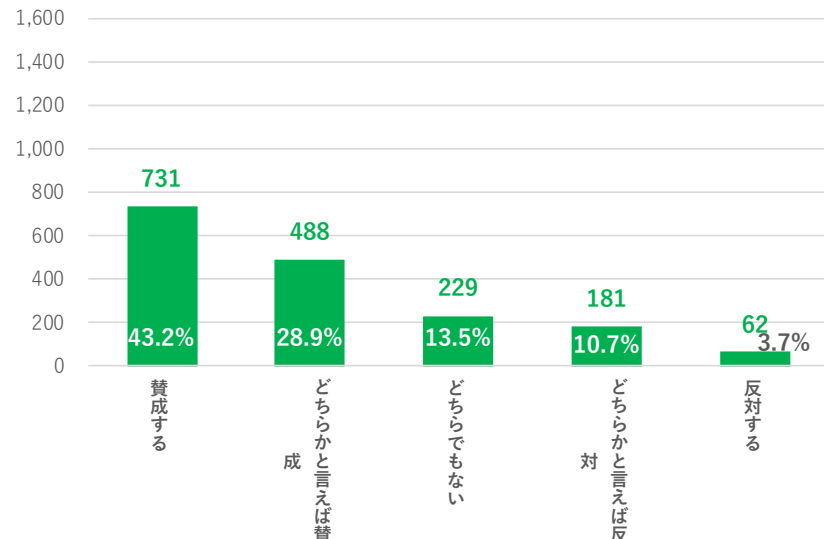
Q13 加茂市内の児童生徒数は、1学年130~180人で構成されており、今後は100人を割る見込みです。より良い教育環境を目指すという観点から学校の統合が選択肢のひとつとして適切だと考えますか？ (いずれか1つ)

とてもそう思う	846
少しそう思う	545
どちらでもない	155
あまりそう思わない	117
全くそう思わない	28
総計	1,691



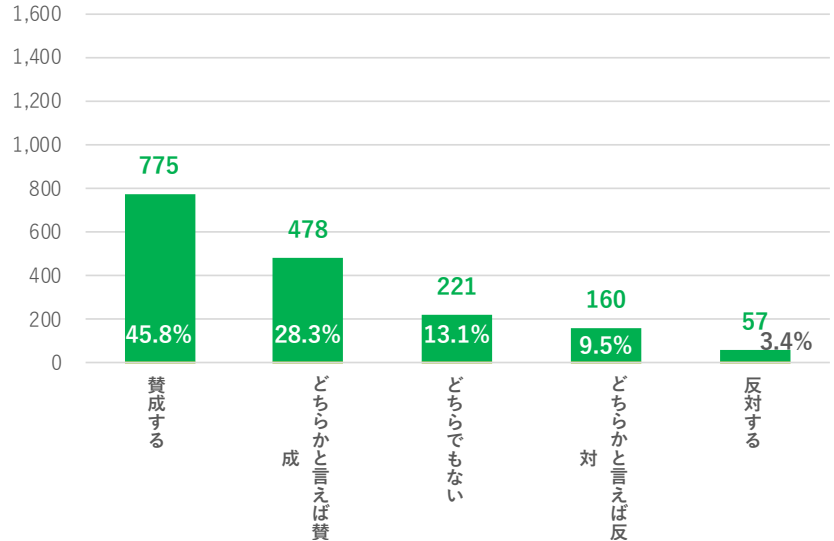
Q14 仮にあなたの地域にある小学校が統合されるとしたら賛成しますか？ (いずれか1つ)

とてもそう思う	731
少しそう思う	488
どちらでもない	229
あまりそう思わない	181
全くそう思わない	62
総計	1,691



Q15 仮にあなたの地域にある**中学校**が統合されるとしたら賛成しますか？ (いずれか1つ)

とてもそう思う	775
少しそう思う	478
どちらでもない	221
あまりそう思わない	160
全くそう思わない	57
総計	1,691



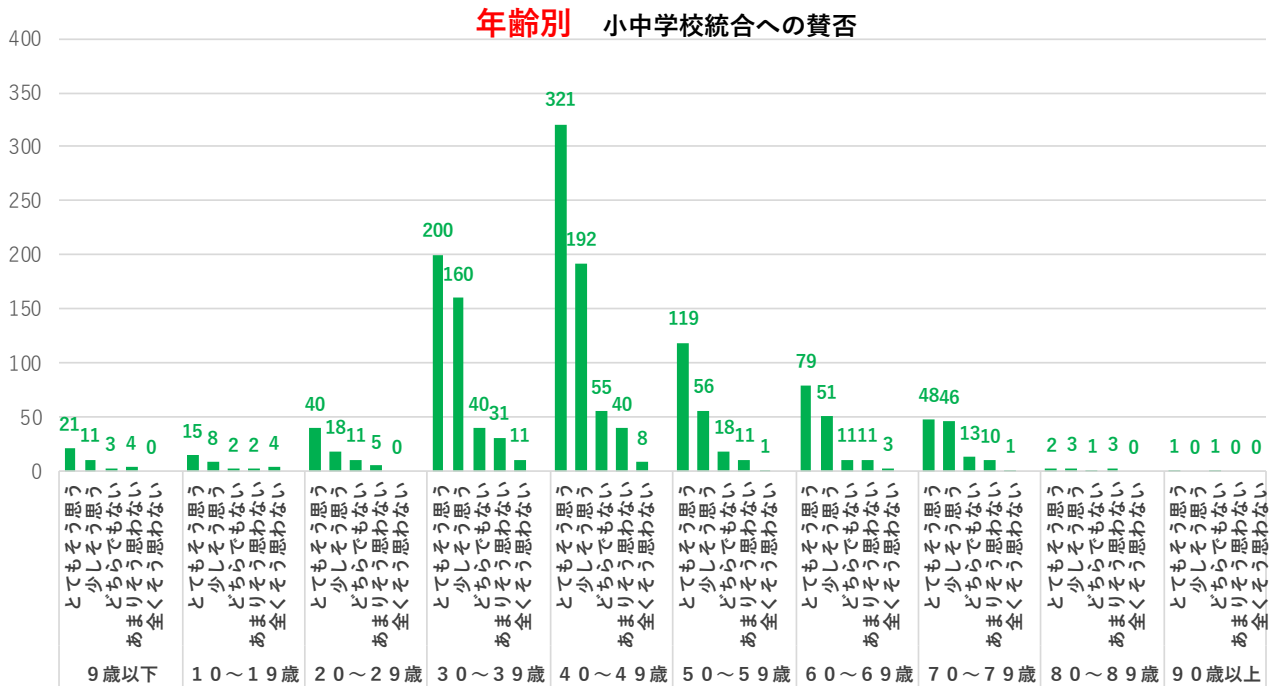
Q16 今後の小中学校に求めること(例:学びの環境、コミュニティ・スクール、校舎、部活動など)、小中学校の統合についてなど、あなたのご意見を記載してください。

➡ 寄せられたご意見 658 件を解析。(解析の結果は 38～39 ページに掲載。)

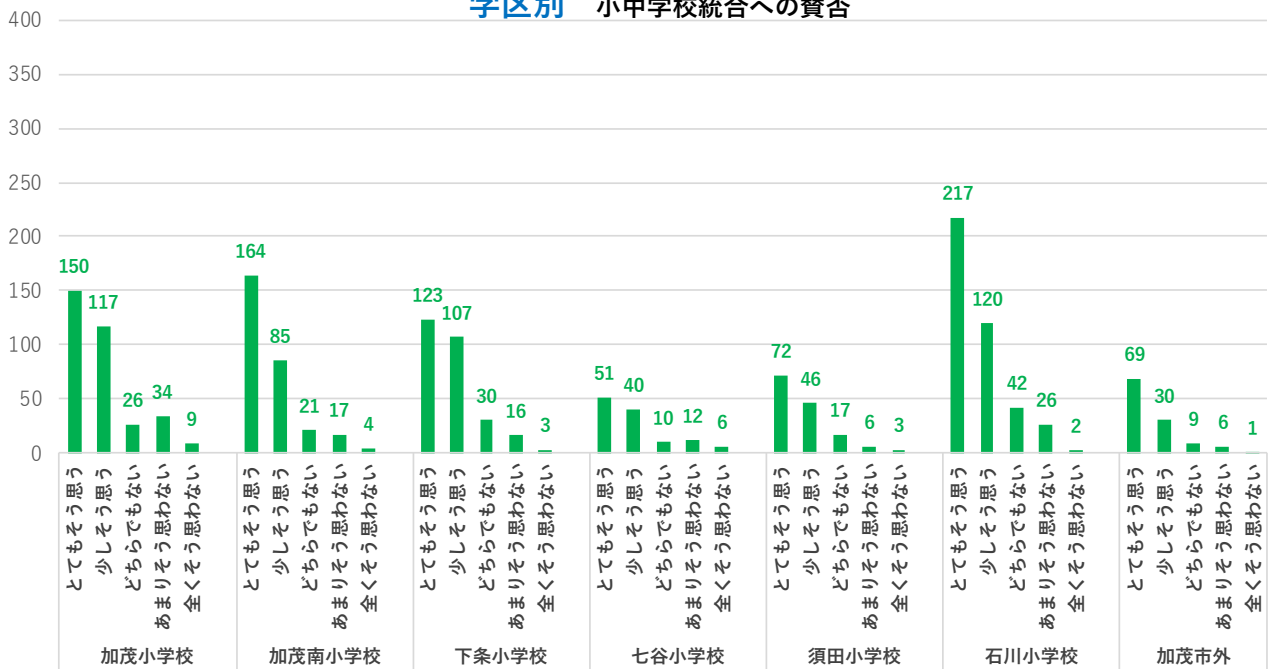
6 統計解析とテキストマイニング

① 全体的な回答傾向

- ・ 年齢別・居住学区別に集計した結果、全ての設問において著しい偏りは認められなかった。
- ・ 小中学校の統合に関する賛否についても同様であった。



学区別 小中学校統合への賛否



② 「加茂市立小中学校における適正規模・適正配置の在り方 答申」の既読、未読と小中学校統合という手段への適性度認識との関係

- 答申の本文または概要のどちらか、または両方を読んだことがある群と読んだことがない群に分け、「統合は手段として適切か？」の問いに対し、肯定的な回答が **2.054 倍** となることが示された。
- 「答申を読んだ」か「読んでいないか」と統合の手段としての適性度認識には関係があることが示された。
- 市民の「小中学校の統合」という手段に対する理解や賛同を得るためには統合計画の詳細や意義を広く周知することが重要であるといえる。

- ・ 独立性の検定による有意確立及びオッズ比（使用ソフトウェア：Excel 統計）
- ・ 「Q13 加茂市内の児童生徒数は、1学年130~180人で構成されており、今後は100人を割る見込みです。より良い教育環境を目指すという観点から学校の統合が選択肢のひとつとして適切だと考えますか？」に対する回答
- ・ 適切である：「とても思う」+「少し思う」
- ・ 適切とは言えない：「どちらでもない」+「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」 に分類

③ 自由記載に対する解析

■ 寄せられた意見の一部抜粋

- 統合することが望ましいと思うが、登下校の手段として、スクールバスの配置を十分に行わなければならない。
- 子どもたちの未来、成長を考えていくべき。問題はどの道にも必ずあるので、子どもたちのために皆さんが意見を交換して、より良い加茂市の教育がなされると良いと思います。
- 中学校では生徒数や指導教員の観点から、入りたい部活ではないところに入らなければいけない現状があり、かわいそうなので、ある程度の部活が設立できる規模になればよいと思う。

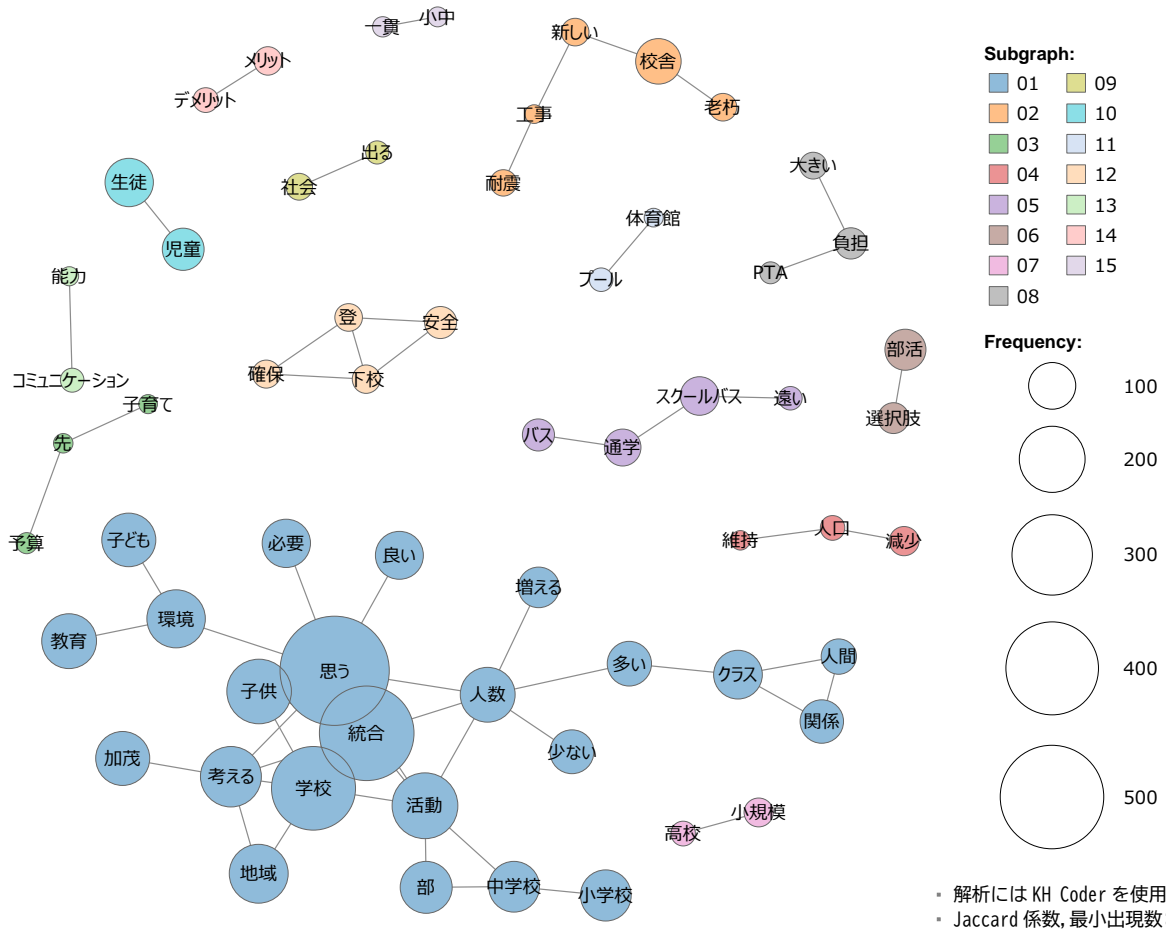
■ 寄せられた意見の概要

- 統合に肯定的な意見が多く見受けられたが、その中でも教員やPTAの負担、設備の充実度などの課題が挙げられていた。
- 部活動や生徒同士の交流等に関しては、統廃合により改善を期待する意見が大多数であった。
- 懸念点としては、通学に関する懸念および生徒一人当たり教員が割ける時間の減少などが挙がっていた。

自由記載に対する解析【概要】

▶ 共起ネットワーク図による分析

「共起ネットワーク」：出現する単語の関係をネットワークにして表現します。共起ネットワークにより、単語の関連性を可視化することができ、文章全体の傾向把握に有効です。円の大きさは単語の出現数、円同士の距離は語の関連性の強さを表しています。

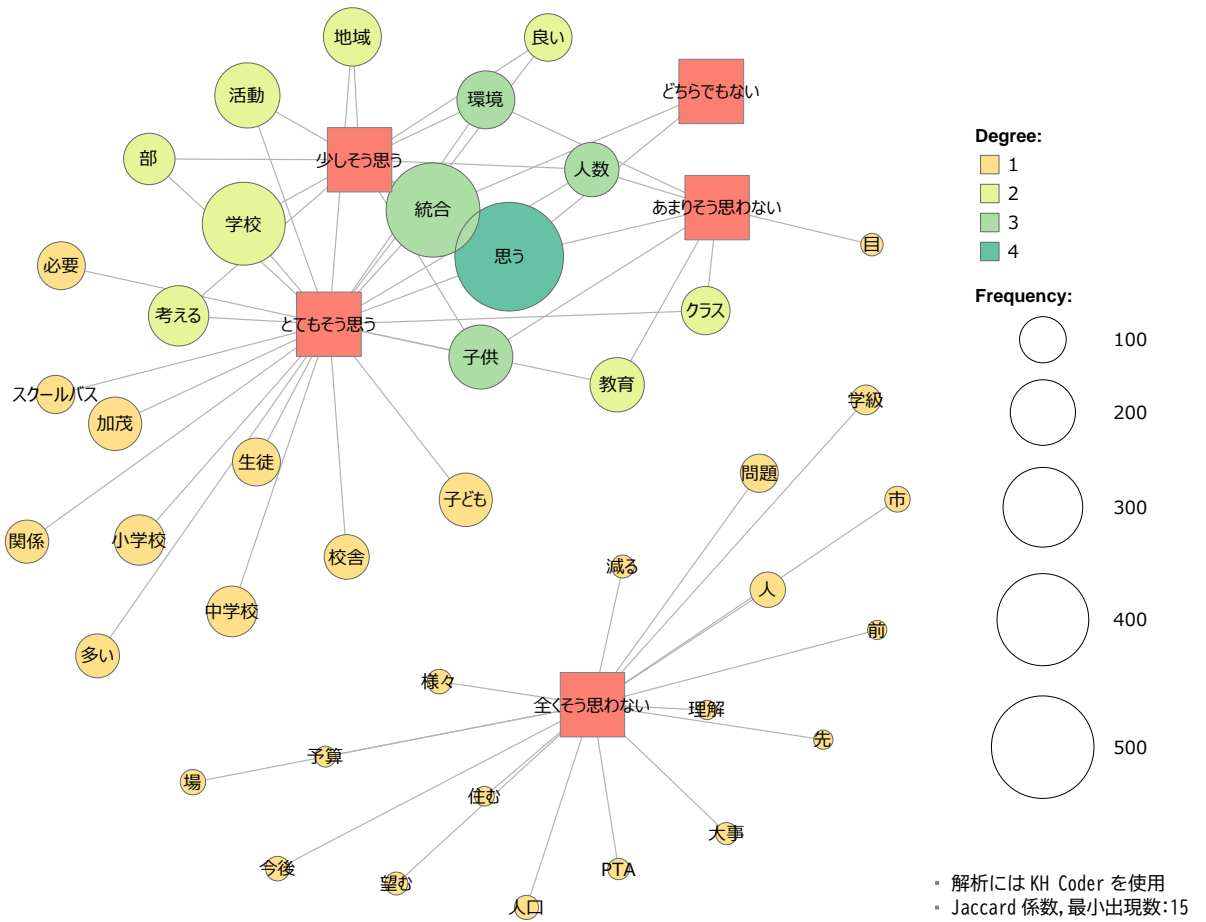


自由記載に対する解析【解釈】

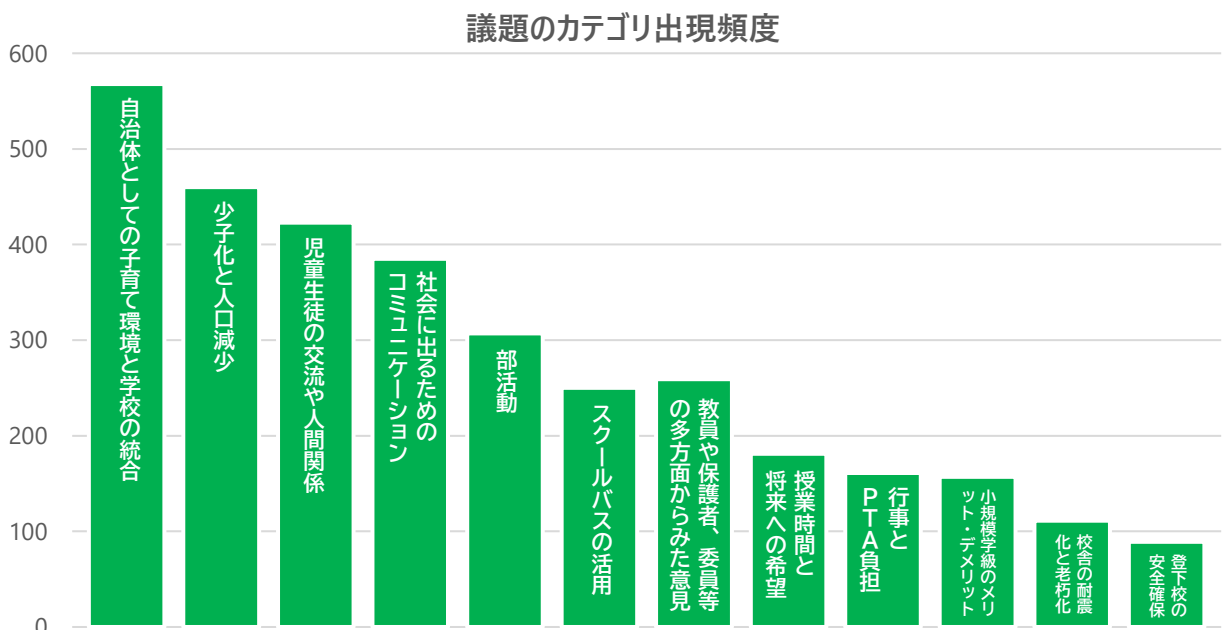
▶ 共起ネットワーク図による分析による主な論点

- ・ 統合に関する教育環境(クラス人数や部活動をはじめとした活動)
- ・ P T A、部活の負担や選択肢
- ・ 通学に関しては自宅-学校間が離れている場合、バス(スクールバス)の利用および安全性
- ・ 校舎の老朽化や耐震工事
- ・ 人口減少
- ・ 子育て予算

- ▶ 「小中学校統合は教育環境整備の手段として適切か？」という問いに対する回答別の共起ネットワーク図による分析
 - ・ 「全くそう思わない」と回答した回答者とそれ以外の回答者の記載内容の関連性が低いことが示された。
 - ・ 「全くそう思わない」と回答した回答者の意見としては、「PTAの負担」や「予算」に関するものが抽出された。



▶ クラスタ解析による議題の分類



加茂市立小中学校適正化方針(案)説明会のお知らせ

説明会日程

期日	時間	会場
3/17(日)	14:00~15:30	加茂文化会館小ホール
3/19(火)	19:00~20:30	須田コミュニティセンター
3/22(金)	19:00~20:30	中央コミュニティセンター
3/24(日)	10:00~11:30	七谷コミュニティセンター
3/24(日)	14:00~15:30	下条コミュニティセンター
4/17(水)	19:00~20:30	加茂小学校
4/19(金)	19:00~20:30	公民館西分館

方針(案)の内容について説明します。どの日程も内容は同じです。

※手話通訳・要約筆記などが必要な方は事前にお申し出ください。

★適正化方針(案)に対するご意見をお聞かせください★

・「方針(案)」の二次元コードをスマホなどで読み込むと

ホームページから方針(案)が見れます。

・「意見募集フォーム」で方針(案)に対する意見を募集中です。

方針(案)



意見募集フォーム



お問い合わせ先:加茂市教育委員会庶務課
電話番号:0256-52-0080(内線 441)
メール:(syomu@city.kamo.niigata.jp)



加茂市

ち いき ほう かつ し えん

地域包括支援センター

お気軽に、ご相談ください



ち いき ほう かつ し えん

地域包括支援センターとは

高齢者のみなさんはもちろん、そのご家族や高齢者の近所にお住まいの方もご相談いただける、総合相談窓口です。相談は無料です。

介護や健康のこと

介護予防ケアマネジメント

- *介護保険の申請をしたい
- *介護予防をして健康を維持したい
- *身体機能に不安がある
- *介護予防ケアプランを作成したい

権利を守ること

権利擁護

- *財産管理が出来ず困っている
- *成年後見人制度を利用したい
- *高齢者虐待の早期発見・防止を進めます。

様々な相談

総合相談

- *一人暮らし、高齢夫婦の親が心配
- *近所の一人暮らしの高齢者が心配
- *認知症について知りたい

暮らしやすい 地域づくり

包括的・継続的ケアマネジメント

- *住民主体の地域づくりをお手伝いします。

ご相談は、ケアマネジャー、社会福祉士、
保健師が担当いたします

詳細は裏面へ



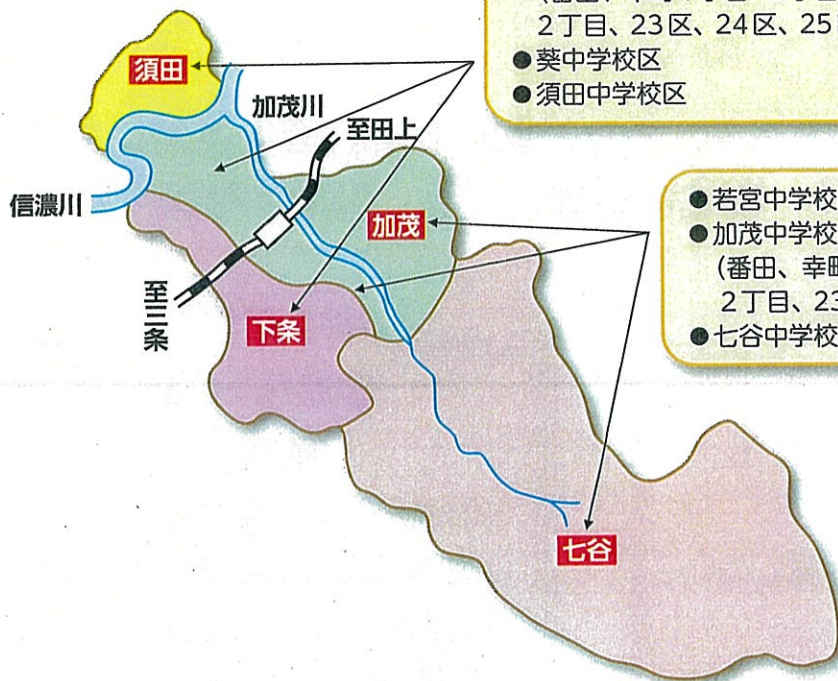
お問い合わせ

加茂市長寿あんしん課 0256-41-4032

加茂市地域包括支援センターが2か所に増えます

「地域包括支援センター」とは、高齢者のご家族のための総合相談窓口です。
加茂市では **令和6年4月1日**より地域包括支援センターを **2か所**に増設します。

加茂市地域包括支援センター 圏域図



- 加茂中学校区の一部
(番田、幸町1丁目・2丁目、石川1丁目・2丁目、23区、24区、25区)
- 葵中学校区
- 須田中学校区

- 若宮中学校区
- 加茂中学校区
(番田、幸町1丁目・2丁目、石川1丁目・2丁目、23区、24区、25区を除く。)
- 七谷中学校区

加茂市地域包括支援センター

担当地区

加茂中学校区の一部
(番田、幸町1丁目・2丁目、石川1丁目・2丁目、23区、24区、25区)
葵中学校区
須田中学校区

TEL. 41-4032
FAX. 53-4693

加茂市幸町2丁目3番5号
加茂市役所 長寿あんしん課



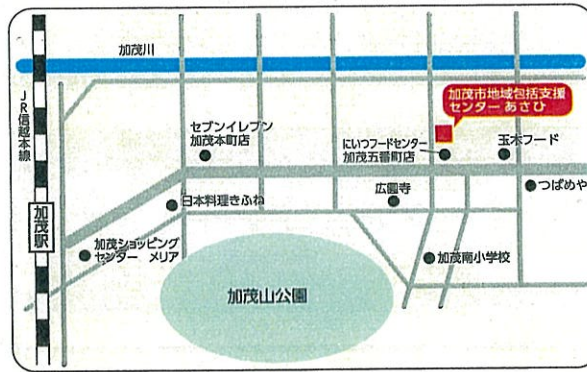
加茂市地域包括支援センター あさひ

担当地区

若宮中学校区
加茂中学校区
(番田、幸町1丁目・2丁目、石川1丁目・2丁目、23区、24区、25区を除く。)
七谷中学校区

TEL. 47-4666
FAX. 47-4667

加茂市五番町1番1号
中央コミュニティセンター2階



ご相談は、担当地域のセンターに限らず、どちらの窓口でもお受けいたしますので、最寄りのセンターや行きやすいセンターをご利用ください。

としょかん 「図書館きっずDAY」を^{かいさい}開催します!!

「お静かに！」と言われるのが心配で図書館はちょっと…と遠慮している
お父さん！お母さん！

おしゃべりしながら本を選んだり、読み聞かせをしたり、子ども映画を見たり、
親子で一緒に楽しめる「図書館きっずDAY」を開催します!!

もちろん赤ちゃんが声を出して笑っても泣いても大丈夫。

図書館に来たことのある人もない人も、この機会に図書館に来てみませんか？

※ベビールームもあります。

【日時】令和6年3月16日（土）

9:00～18:00

【会場】加茂市立図書館

1階 閲覧室・お話し室

2階 視聴覚室

【イベント内容】

10:00～11:30

ワクワクドキドキおはなしのへや
(読み聞かせ・工作)

13:30～16:30

読み聞かせ・子ども映画

イベント会場：2階 視聴覚室

★出入りは自由です

【飲み物・食べ物など】

★カップのついた飲み物は席で飲んで
もいんです。

★館内での食事は2階の休憩コーナーを
ご利用ください。

★乳幼児と一緒にの方は「あそびの広場」を
ご利用になれます。(となりの建物です)

★上条コミュニティセンターもご利用いた
だけます。(前の建物です)

★ぜひ、加茂市内の飲食店をご利用ください。

加茂市グルメサイト



【やってはいけないこと】

★走ること

★あぶないこと

★本を乱暴にあつかうこと

★ケンカをすること

★携帯電話で話をする

【問い合わせ】

加茂市立図書館

住所：加茂市神明町2-6-29

電話：0256-53-3500

図書館 HP



E-Mail: tosyokan@city.kamo.niigata.jp



としょかんからのお知らせ

3月のよてい

こども読書会

3/9

どようび

ごご2じから 2階 ちようかく室

かみしばい はなし えいしゃ
紙芝居・お話・映写をします。



おはなしトレインのおはなし会 (乳幼児向け)

3/13

すいようび

ごぜん10じ30ぷん~11じ30ぷんまで

1階 おはなし室



ボランティア団体『おはなしトレイン』さんが
絵本の読み聞かせなどをします。

ワクワクドキドキお話のへや

3/16

どようび

ごぜん10じから 2階 ちようかく室

お話を聞いて、工作をします。

【リサイクル工作】ひらめきを形にしよう♪

身近にある材料を使って自由工作をします。



どなたでも参加できます。申込はいりませんので、当日会場へおこしください。

加茂市立図書館

加茂市神明町2-6-29

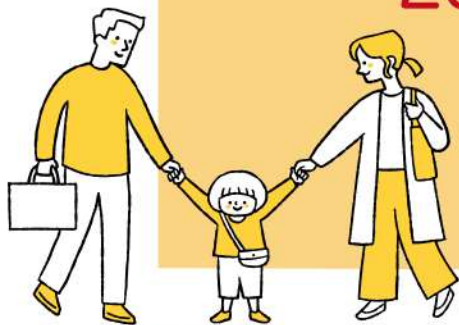
☎ 53-3500

Cul*Kamo アート & マルシェ

2024年3月20日(水祝)

10:00~16:00

加茂文化会館



マルシェ

大ホールホワイエ

ハンドメイド作品販売・体験ワークショップ・地元野菜の販売など、10店舗



キッチンカー

裏駐車場

フードからデザートまで、おいしい4店舗が大集合!

福島はるお絵本ライブ

小ホール

1回目/11:00開演 2回目/13:00開演

当日受付 参加無料

大人も子供も楽しめる!

読み聞かせと歌とピアノで絵本の世界に飛び込もう!

バックヤードツアー

大ホール舞台

事前申込 参加無料

11:30~12:00 対象年齢:小学生以上/事前申込/先着順

10名限定の特別企画!ふだんは入れない舞台裏を探検しよう!



ストリートピアノ

小ホール

当日受付 参加無料

11:30~12:30/14:00~16:00

※混み合う場合は譲り合ってください。

飛び込み参加大歓迎!

誰でも自由に弾けるピアノがこの日限定で登場!



お申込み
お問合せ

加茂文化会館 0256-53-0842

新潟県加茂市幸町2-3-5 受付時間9:00~17:00/火曜休館

主催:加茂文化会館(指定管理者株式会社ケイミックスパブリックビジネス)

後援:加茂市教育委員会

※駐車場は市役所をご利用ください。

加茂文化会館
ホームページ



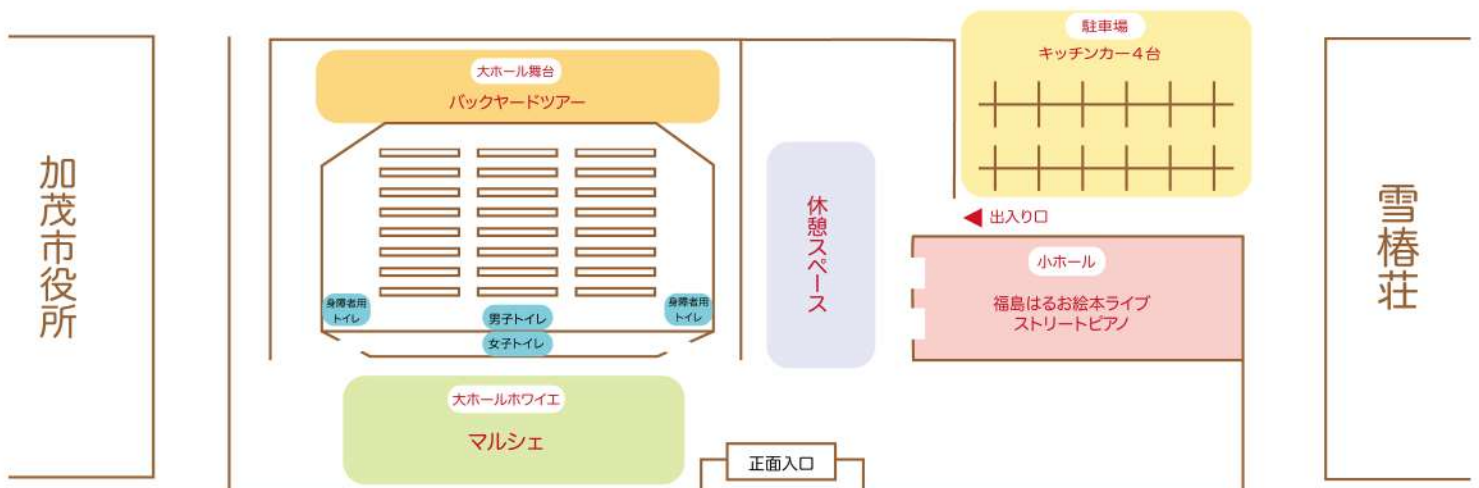
マルシェ出店店舗

- P.mimtyy フラワー雑貨販売・ワークショップ 当日受付 参加有料
- 切り絵 hiro. 加茂紙切り絵雑貨・アート販売 当日受付 参加有料
- amulette.dou 手作り宝石石鹸販売・ワークショップ 当日受付 参加有料
- sopo&lapsi 雑貨販売・子供向け工作ワークショップ 当日受付 参加有料
- Terraria テラリウム販売・ワークショップ 当日受付 参加有料
- 玉屋 エプロン・雑貨販売
- MORO バッグ類販売
- ETSU アメリカンフラワーワークショップ 当日受付 参加有料
- ななたにさとやまふぁーむ 七谷産野菜・雑貨販売
- LITH お弁当他 テイクアウトOK

キッチンカー出店店舗

- ふふふ クレープ・どら焼きサンド・ジェラート テイクアウトOK
- mt.japancompany 唐揚げ・ロングポテト テイクアウトOK
- うずまき屋 日本茶ドリンク テイクアウトOK
- CHINAMI 肉巻おにぎり・フランクフルト・ソフトドリンク等 テイクアウトOK

会場見取り図



大ホールリニューアル記念コンサート

早春に響く 心揺さぶる 室内楽

大ホールリニューアル公演のファイナルを飾るのは
「新潟シンフォニエッタTOKIのメンバーと仲間たち」
音響の素晴らしさを体感してください!



ピアノ
平山友紀子



ヴァイオリン
平山真紀子



ヴィオラ
佐々木友子



チェロ
渋谷陽子



コントラバス
上田 淳

プログラム(予定)

モーツァルト:ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 K.478 / ドホナーニ:弦楽三重奏のためのセレナーデ ハ長調 作品10
ブルッフ:8つの小品 作品83 より / ピアソラ:ヴァイオリンとコントラバスのための5つのタンゴ
シューベルト:ピアノ五重奏曲「ます」イ長調 作品114 D.667 より / ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」より
※出演者・演奏曲目は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

2024年 3月24日(日)
14:00開演 13:30開場

チケット
好評
発売中!!!

全席指定・税込 一般 2,500円 学生券(中学生以上) 1,500円
小学生 無料(チケット必要) グループ(10名以上) お一人2,000円
※未就学児入場不可

便利な会館オンラインチケットサービス
(登録不要。ファミリーマートにてチケット発券)はこちら→



プレイガイド コイケメガネ…………… 0256-52-2321

お問合せ・チケットのお申し込み

加茂文化会館 TEL0256-53-0842

〒959-1313 新潟県加茂市幸町2丁目3-5 受付時間9:00~17:00 休館日:毎週火曜日

主催:加茂文化会館(指定管理者株式会社ケイミックスパブリックビジネス) 後援:加茂市教育委員会/加茂文化協会/加茂音楽協会

PROFILE

新潟シンフォニエッタTOKIのメンバーと仲間たち



PIANO

ピアノ
平山 友紀子

Yukiko Hirayama

新潟緑。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部器楽科を経て同大学院修士課程修了。ベルリ・ハンスアイスラー音楽大学を最高位の成績で卒業。ディプロマを取得。その後、デトモルト音楽大学室内楽科を最高位の成績で卒業。国内外でソロ・室内楽コンサートに出演、高い評価を受けている。国内では新潟、東京でそれぞれソロ、デュオリサイタルを7回開催いずれも好評を博す。現在、デトモルト音楽大学常勤伴奏講師を務める傍ら、後進の指導にあたっている。



VIOLIN

ヴァイオリン
平山 真紀子

Makiko Hirayama

新潟市在住。第8回かながわ音楽コンクール中学生の部最優秀賞受賞。桐朋女子高等学校音楽科卒業後、渡欧。オランダ・ロッテルダム音楽院、国家演奏家資格を取得し卒業。在学中からオランダ国内外の主要オーケストラの契約団員として活動。2003年南オランダ・フィルハーモニーに入団。第2ヴァイオリン副首席奏者として活躍。2019年退団し帰国。オーケストラや室内楽の分野で幅広く活動。東京21世紀管弦楽団第2ヴァイオリン副首席奏者、TOKI弦楽四重奏団メンバー、新潟ジュニアオーケストラ教室講師。



VIOLA

ヴィオラ
佐々木 友子

Tomoko Sasaki

新潟市在住。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を卒業。英国王立音楽院にて演奏家ディプロマ取得。現在、バロックから現代まで幅広く興味を持ちながら演奏活動を行っている。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」新潟教室、県立新潟中央高校音楽科、新潟大学教育学部非常勤講師。



CELLO

チェロ
渋谷 陽子

Youko Shibuya

新潟市出身。桐朋学園大学卒業。同大学研究科を経て、スイス・ローザンヌ音楽院を第1位、奨励賞を得て卒業。エヴィアン音楽祭、クロアチア・ジュネスミュージック、サンクトペテルブルク第2回世界チェロコンGRESS等、多数の音楽祭に参加。現在、トリオ・ベルガルモ、新潟ARS NOVAのメンバーとして活発に演奏活動を行っている。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」新潟教室、新潟市ジュニアオーケストラ教室講師。



CONTRA
BAS

コントラバス
上田 淳

Jun Ueda

新潟市出身。10才よりコントラバスを始める。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」で学ぶ。桐朋学園大学音楽学部を卒業し同研究科修了。在学中には別府アルゲリッチ音楽祭や、サイトウキネン室内楽勉強会、小澤征爾音楽塾に参加。西田直文氏に師事。東京ヴィヴァルディ合奏団、東京アーティストツ合奏団団員。都内・近郊オーケストラ、レコーディング等で活動。

NIIGATA
SINFONIETTA
TOKI

♪新潟シンフォニエッタTOKIについて

2023年20周年を迎え東京や各地で高い評価を受けている「TOKI弦楽四重奏団」を母体に、規模・質両面からクラシック音楽の更なる充実を目指すため、新潟出身・縁・在住の国内外で活躍する仲間と編成されたプロ弦楽アンサンブル「新潟シンフォニエッタTOKI」を新たに編成。迫力ある音とハイレベルで個性的なコンサートを開催するほか、若手演奏家の育成、学校などでの音楽鑑賞会など子供たちの音楽教育にも積極的に参加している。「弦王国」と言われる新潟県を象徴する弦楽奏団。

八神純子 Live

キミの街へ ～for all living things～



「ピアノとギターだけだから、バラードばかりの静かなコンサートになった」ということは、ロックなマインドをも抱く八神純子にはありません。「みずいろの雨」も「パープルタウン」も、キーは変えないまま、そして今の八神純子表現する新曲も、厚みとリズム感に富んだピアノとギターが支え、圧倒的な声量で歌い上げます。一方で、バンドライブではシンセサイザーやドラムにかき消されてしまう息遣いを感じることも。だから「八神純子はどれくらい歌がうまいのか」が真に分かるのはこのシンプルなステージです。確かめてください。会場を出る時、心はさまざまな情景と気持ちで満たされていることを八神純子は約束します。

演奏／宮本貴奈(Piano)・竹中俊二(Guitar)

2024 6/9 (日)

加茂文化会館大ホール

全席指定6,500円(税込) 開場PM3:30 / 開演PM4:00

※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット発売日

2024年3月2日(土)

プレイガイド

◎加茂文化会館 発売初日 10:00～ 電話・オンライン、14:00～ 窓口販売 ◎コイケメガネ

◎メディアシップ・インフォメーションセンターえん ◎新潟県民会館 ◎(株) KOKK

◎ハミングツアー新潟営業所・web 販売 「ハミングツアー」 検索 ※販売方法は各プレイガイドにお問い合わせください。



【主催・お問い合わせ】(株) KOKK TEL 0254-22-1404 / 加茂文化会館 TEL 0256-53-0842

◆後援/加茂市教育委員会 ◆企画/Office J ◆協賛/ハミングツアー (受付時間9:00～17:00 火曜休館)

令和6年度

加茂市
KAMO CITY



Niigata
Industrial
Creation
Organization

公益財団法人

にいがた産業創造機構



加茂商工会議所
The Kamo Chamber of Commerce and Industry

事業者向け 支援制度

説明会

参加費
無料

令和6年3月22日(金)

14時～16時

リアル開催

「挑戦」したいあなたを
私たちは応援します！

この説明会では、にいがた産業創造機構(NICO)、
加茂商工会議所、加茂市における各種助成制度や
相談窓口、支援体制を紹介します。

説明 1 14時05分～

にいがた産業創造機構(NICO)

説明 2 14時55分～

加茂商工会議所

説明 3 15時15分～

加茂市商工観光課

質疑応答 15時35分～

会場

加茂市産業センター
2階会議室
加茂市幸町2-2-4

対象者

市内に事業所等を
有する事業者さま

定員 50名

- ・ 事前申込制
- ・ 人数によっては制限する場合がございます。

お問い合わせ

加茂市商工観光課商工振興係



0256-52-0080



syoko@city.kamo.niigata.jp

お申し込み

Googleフォーム または
参加申込書にてお申し込みください。

Googleフォームは
こちらから



申し込み期限

令和6年3月19日(火)

参加申込書



加茂市商工観光課商工振興係 宛



0256-53-4676 または



syoko@city.kamo.niigata.jp

事業者(法人)名	
事業者(法人)住所	
主たる業種	
参加者氏名(1人目)	
参加者氏名(2人目)	
電話番号	
メールアドレス	

発達障害の相談窓口

発達障害のある方やご家族が生活上の困りを感じたとき、ご本人やご家族のみで抱え込むのではなく、必要な支援機関に相談することが大切です。

お住まいの市区町村

市区町村は、地域で生活する発達障害のある方やそのご家族からの相談に応じ、必要な情報提供等を行っています。まずは、お住まいの市区町村の障害福祉に関する窓口や、身近な支援者(乳幼児期であれば保健師、学齢期であれば学校や教育委員会など)にご相談ください。

[全国自治体マップ検索]

<https://www.j-lis.go.jp/spd/map-search/cms 1069.html>

発達障害者支援センター

発達障害児(者)への支援を総合的に行うことを目的とした専門機関です。以下の一覧から、お住まいの地域の発達障害者支援センターを探すことができます。

[発達障害者支援センター一覧]

<http://www.rehab.go.jp/ddis/action/center/>



発達障害の情報サイト

発達障害ナビポータル

国が提供する発達障害に特化したポータルサイトです。発達障害に関する信頼のおける情報を総合的に提供しています。

[発達障害ナビポータル] <https://hattatsu.go.jp/>



発達障害情報・支援センター

発達障害のご本人、ご家族の方、発達障害を知りたい方、発達障害の支援者に向けて、発達障害に関する信頼のおける情報をわかりやすく提供しています。

[発達障害情報・支援センター] <http://www.rehab.go.jp/ddis/>



発達障害教育推進センター

発達障害のある子どもの教育の推進・充実に向けて、教員や保護者をはじめとする関係者への支援を図り、さらに広く国民の理解を得るために、Web サイト等による情報提供や理解啓発、調査研究活動を行っています。

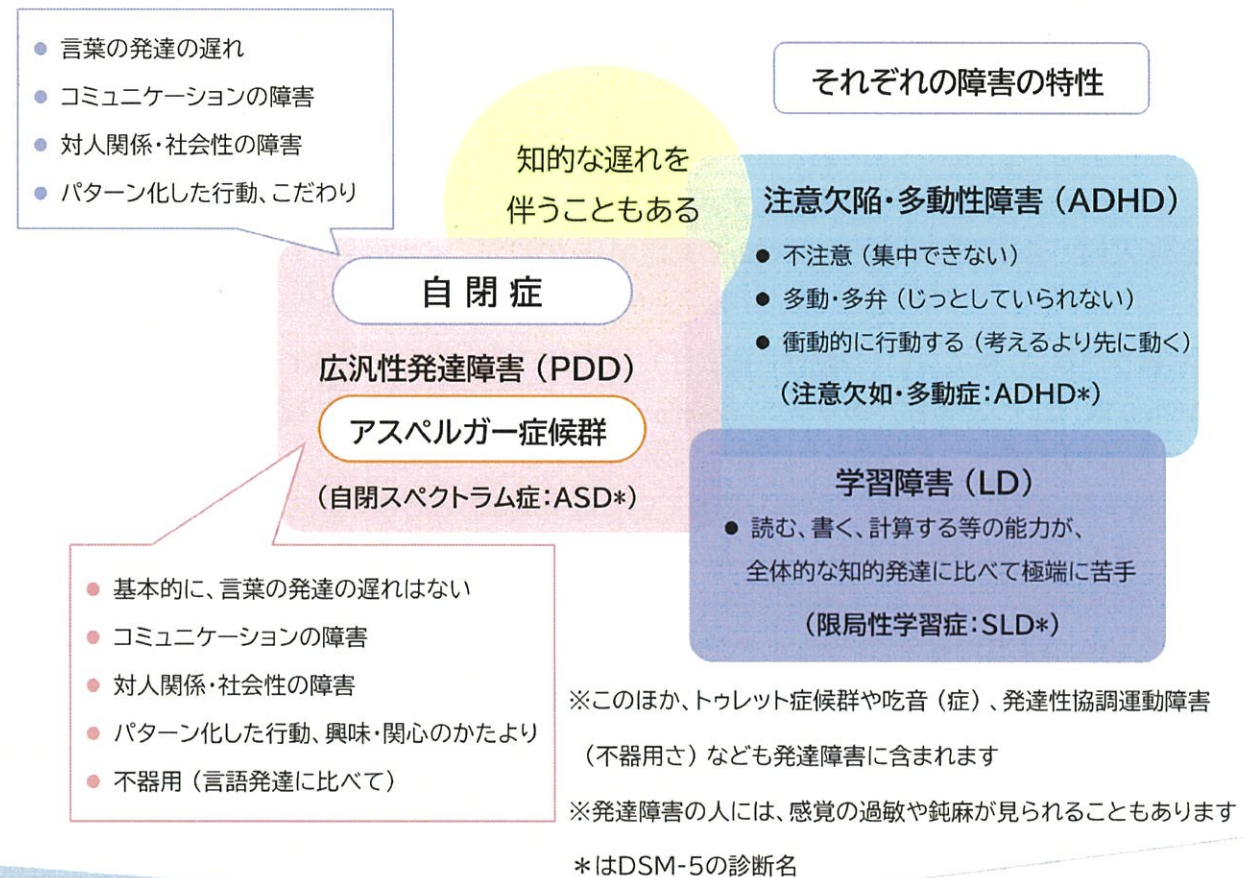
[発達障害教育推進センター] <http://cpedd.nise.go.jp/>



発達障害の理解のために

発達障害者支援法は、発達障害のある人が、生まれてから年をとるまで、それぞれのライフステージ(年齢)にあった適切な支援を受けられる体制を整えることや、この障害が広く理解されることを目指しています。

発達障害の原因はまだよくわかっていませんが、脳機能の障害として考えられています。小さい頃からその症状が現れるため、早い時期から周囲の理解を得て、適切な支援や環境の調整を行うことが大切です。このパンフレットでは、発達障害者支援法で支援の対象としている障害を中心に説明します。



発達障害ってなんだろう？

発達障害者支援法では、発達障害を「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義し、支援の対象としています。また、子どもにも大人にもこれらの特徴をもつ人がいます。

各障害について、よくみられる特徴の例をあげて説明します。なお、同じような特徴がみとめられたとしても、必ずしも発達障害と断定されるものではありません。

*は DSM-5 の診断名

自閉症、アスペルガー症候群(自閉スペクトラム症:ASD*)

コミュニケーションの場面で、言葉や視線、表情、身振りなどを用いて相互的にやりとりをしたり、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを読み取ったりすることが苦手です。また、特定のことに強い関心をもっていたり、こだわりが強かったりします。また、感覚の過敏さや鈍感さを持ち合わせている場合もあります。

保育所や幼稚園に入り、一人遊びが多く集団活動が苦手なことや、かんしゃくを起こすことが多いことで気づかれることもあります。成人期になってから日常生活、家庭、職場などで困難を抱え、精神的な不調を伴い支援を必要とすることもあります。



注意欠陥・多動性障害(注意欠如・多動症:ADHD*)

落ち着きがない、待てない(多動性-衝動性)、注意が持続しにくい、作業にミスが多い(不注意)といった特性があります。多動性-衝動性と不注意の両方が認められる場合も、いずれか一方が認められる場合もあります。

多動性-衝動性は、落ち着きがない、座っていても手足をもじもじする、しゃべりすぎる、他人の会話に割り込むなどの行動が見られます。

不注意の症状は、ミスが多い、集中し続けることができない、話しかけられていても聞いていないように見える、やるべきことを最後までやりとげない、課題や作業の段取りが苦手、計画的に物事を進められない、整理整頓が苦手、忘れ物や紛失が多い、気が散りやすい、などがあります。



学習障害(限局性学習症:SLD*)

全般的な知的発達には問題がないのに、読む、書く、計算するなど特定の学習のみに困難が認められる状態をいいます。

学習障害は、気づかれにくい障害でもあります。子どもにある困難さを正確に把握し、決して子どもの怠慢さのせいにならないで、適切な支援の方法について情報を共有することが大切です。



その他の発達障害

その他の発達障害として、トゥレット症候群や吃音(症)、発達性協調運動障害などがあります。

トゥレット症候群は、さまざまな運動チックと1つ以上の音声チックが1年以上にわたり続く重症なチック障害です。チックとは、思わず起こってしまう素早い身体の動きや発声のことをさします。

吃音(症)は、滑らかに話すことができないという状態をいいます。音をくりかえしたり、音が伸びたり、なかなか話し出せないといった、さまざまな症状があります。

発達性協調運動障害は、目と手、手と足など2つ以上の動きを組み合わせた運動が苦手だったり、ひとつひとつの動作がぎこちなかったりします。自転車に乗るなどの体を使った活動に苦手さがみられたり、くつひもをうまく結べないなど、手先をつかった動作がとても不器用な場合があります。



同じ障害名でも特性の現れ方が違ったり、いくつかの発達障害を併せ持ったりすることもあります。

発達障害は一見すると分かりにくいいため、周囲がご本人の困りに気づいたり、理解したりすることが難しいこともあります。

大事なことは、その人がどんなことができ、何が苦手なのか、どんな魅力があるのかといった「その人」に目を向けることです。そして、その人その人に合った支援があれば、だれもが自分らしく、生きていけるのです。